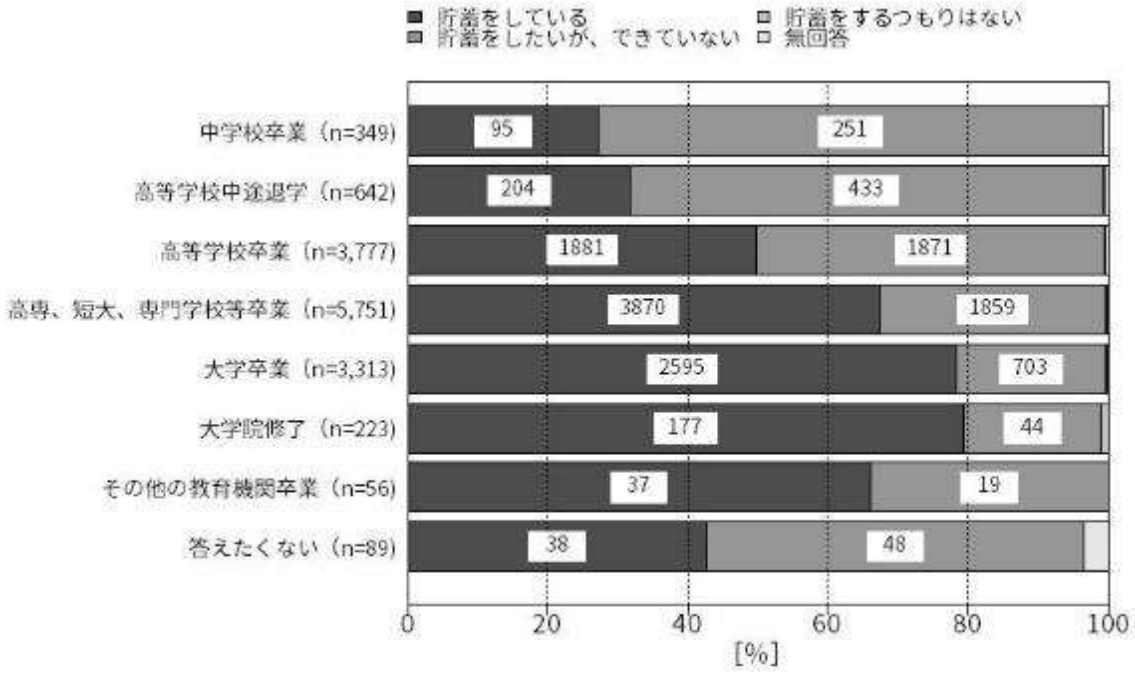
母親の最終学歴別に見た、子どものための貯蓄（問 7×問 5-3）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市住之江区＞

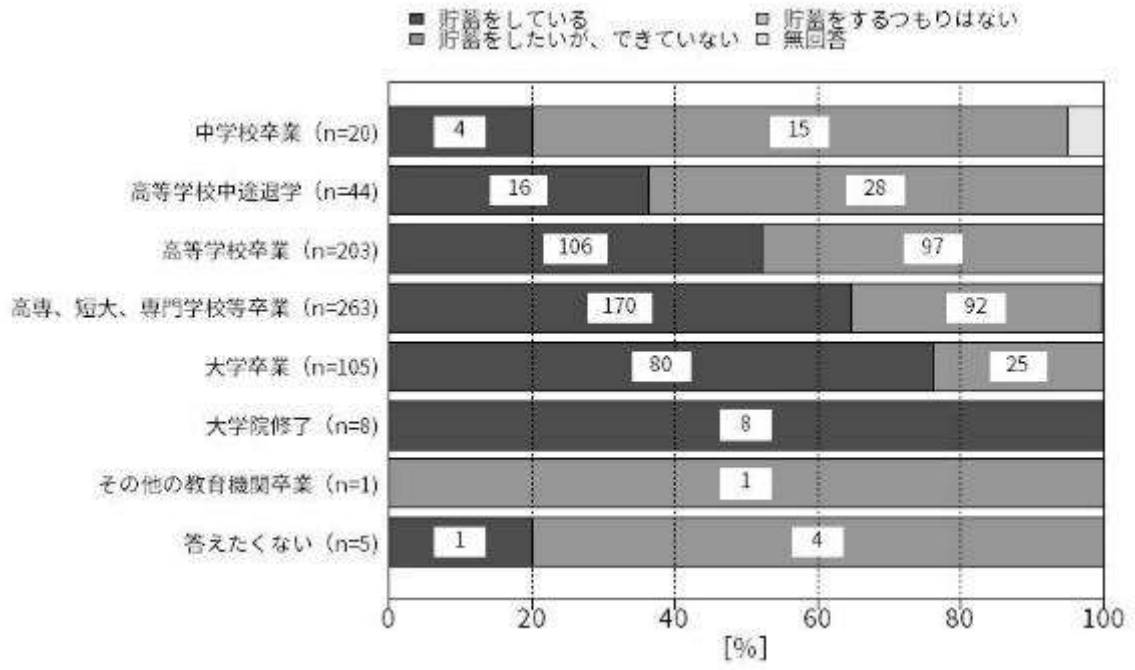
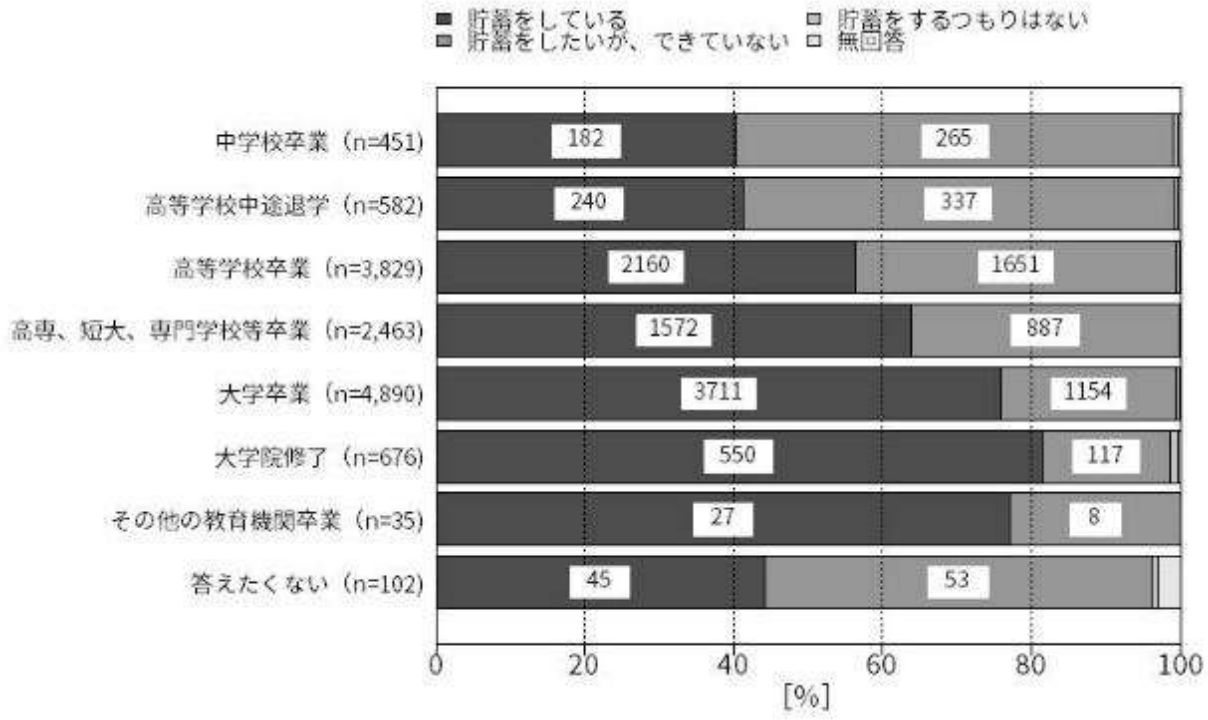


図 118. 母親の最終学歴別に見た、子どものための貯蓄

中学校卒業、高等学校中途退学では、子どものための貯蓄ができている割合が少ない傾向にあった。学歴が高いほど、貯蓄ができている割合が高くなる。

父親の最終学歴別に見た、子どものための貯蓄（問 7×問 5-3）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市住之江区＞

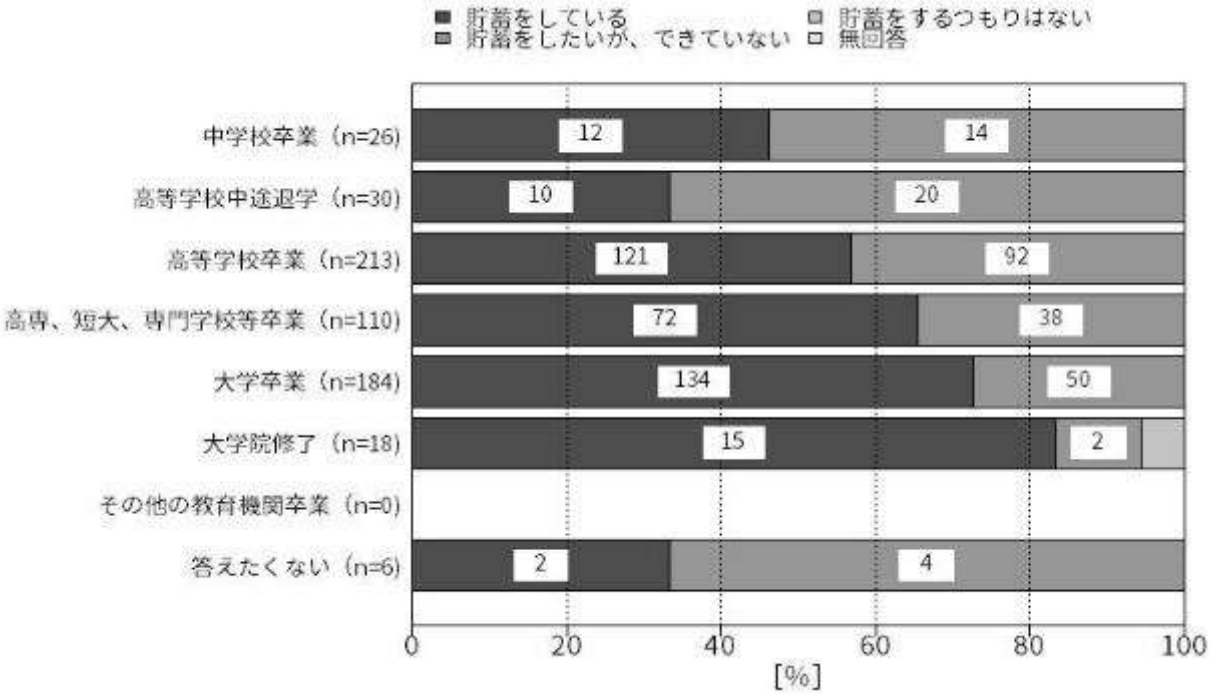


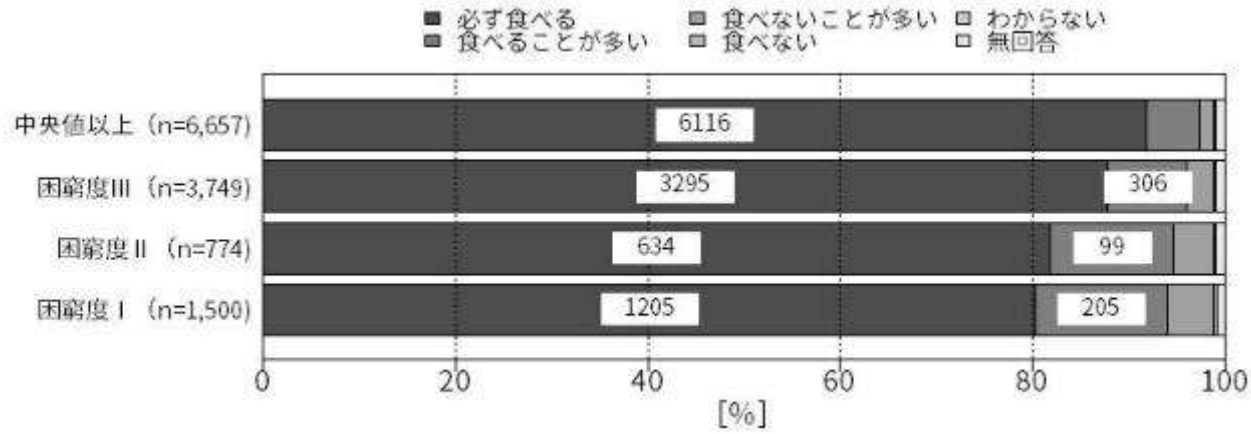
図 119. 父親の最終学歴別に見た、子どものための貯蓄

中学校卒業、高等学校中途退学では、子どものために貯蓄ができている割合が少ない傾向にあった。学歴が高いほど、貯蓄ができている割合が高くなる。

３－３．健康

困窮度別に見た、朝食の頻度（問 17）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市住之江区＞

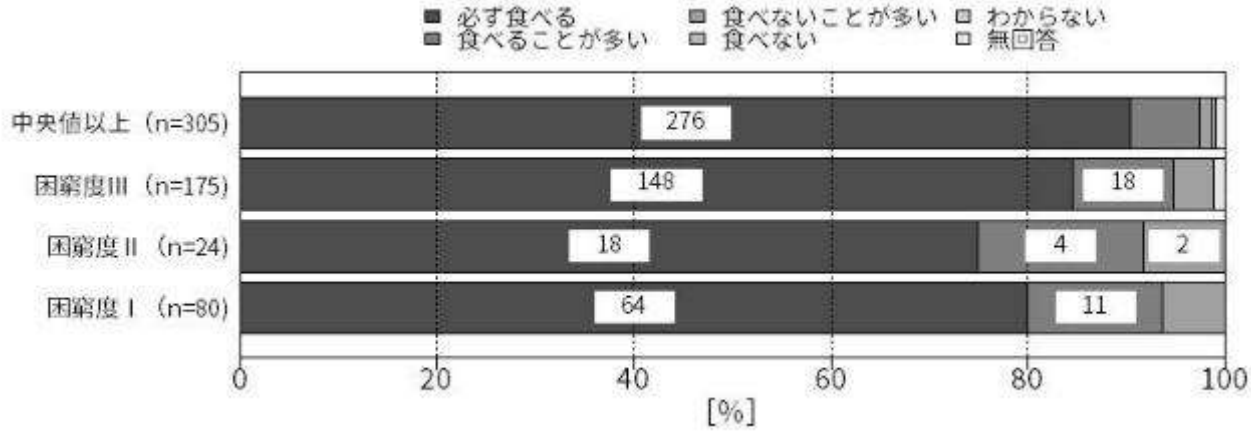
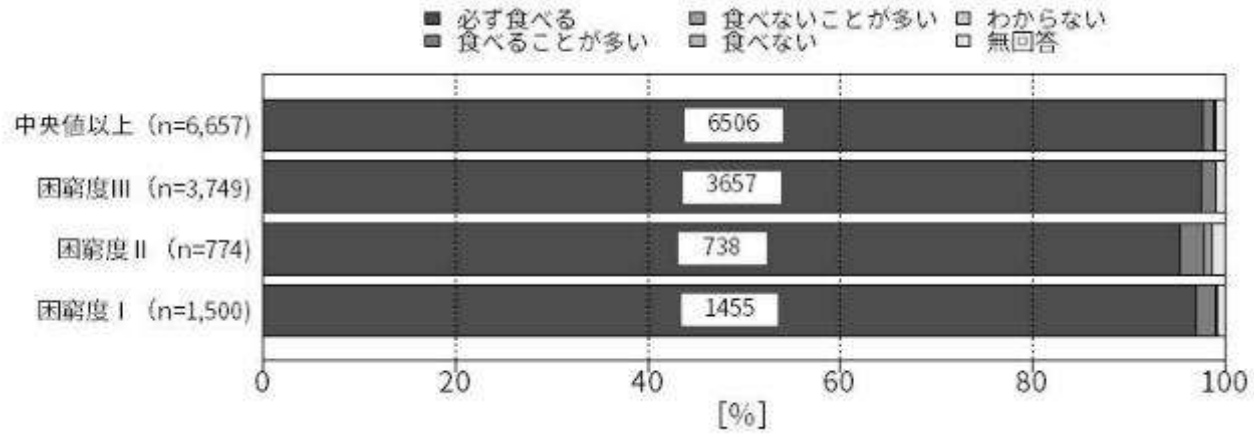


図 120. 困窮度別に見た、朝食の頻度

困窮度が厳しくなるにしたがって、「必ず食べる」の割合が低くなる傾向にあり、困窮度Ⅰ群においては 80.0%となっている。

困窮度別に見た、夕食の頻度（問 20）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市住之江区＞

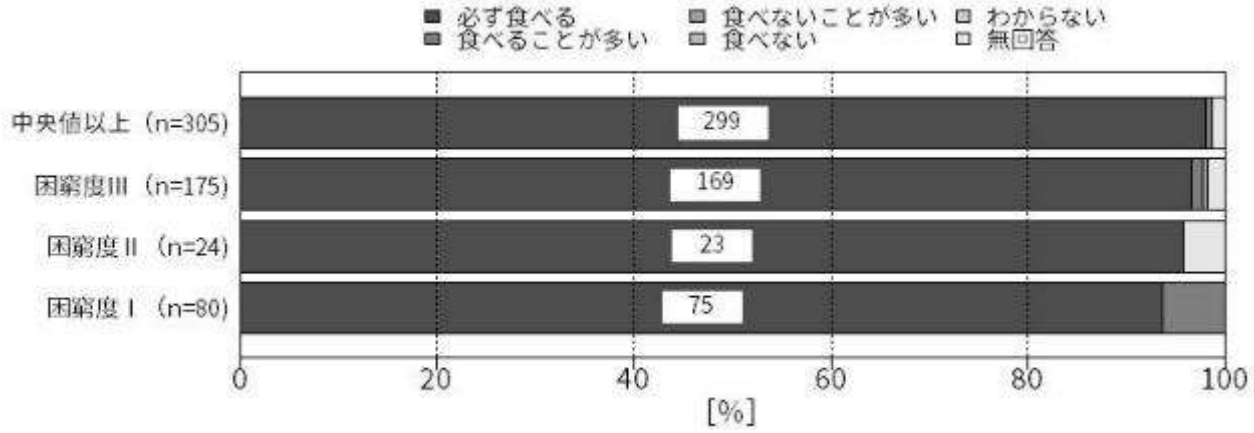
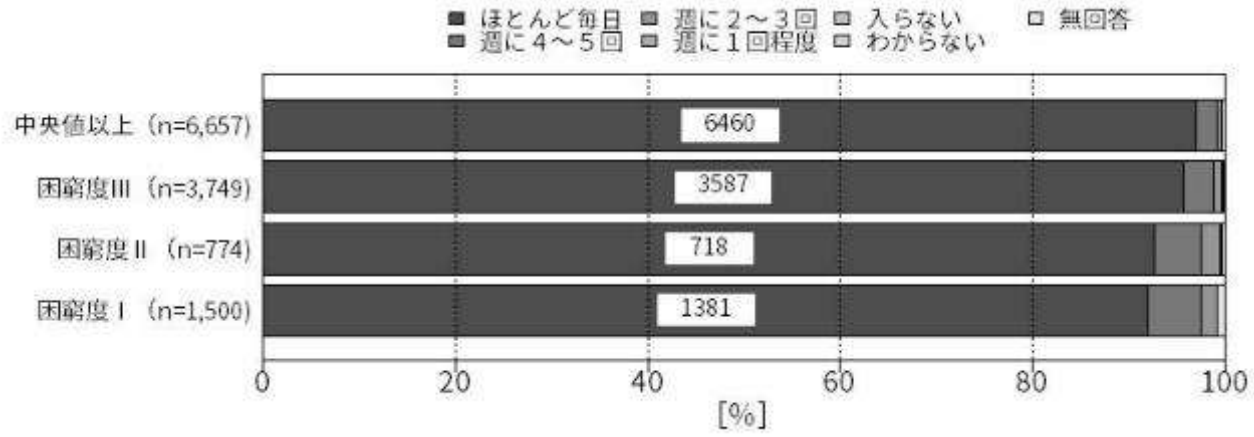


図 121. 困窮度別に見た、夕食の頻度

困窮度が高まるにつれて、「必ず食べる」の割合がわずかに低くなった。

困窮度別に見た、入浴頻度（問 23）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市住之江区＞

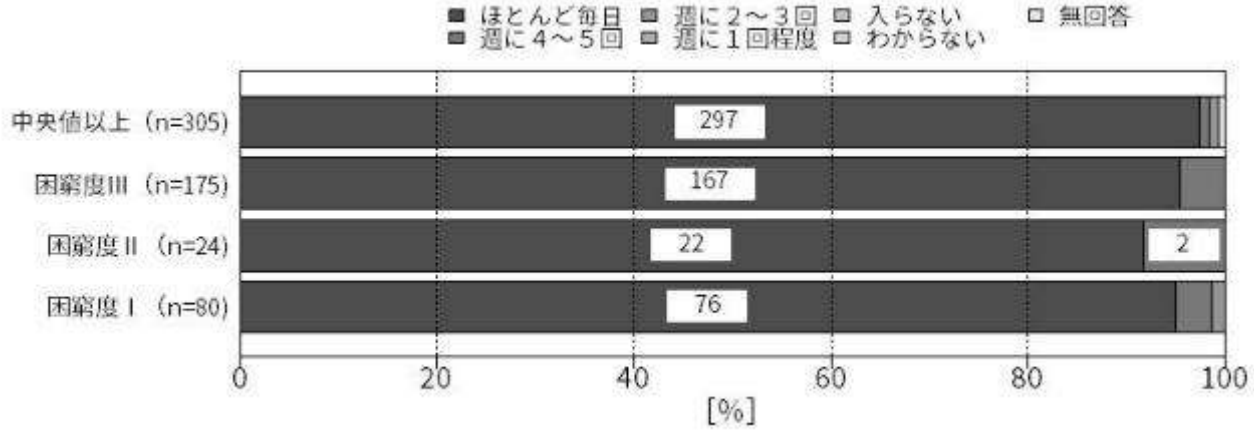
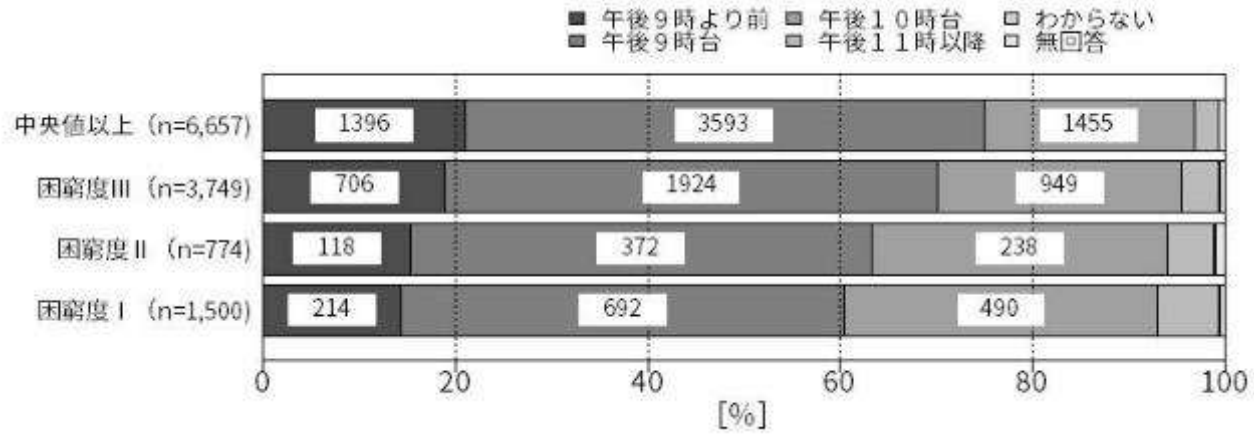


図 122. 困窮度別に見た、入浴頻度

困窮度が厳しくなるにしたがって、お風呂にほとんど毎日入る頻度が低くなる傾向にあり、困窮度Ⅰ群においては 95.0%となっている。

困窮度別に見た、就寝時間（問 16）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市住之江区＞

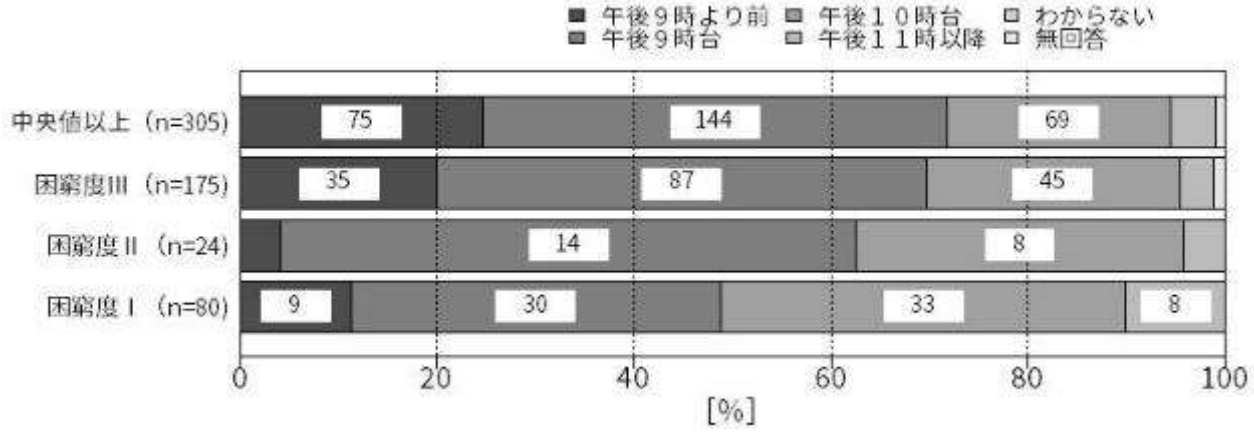
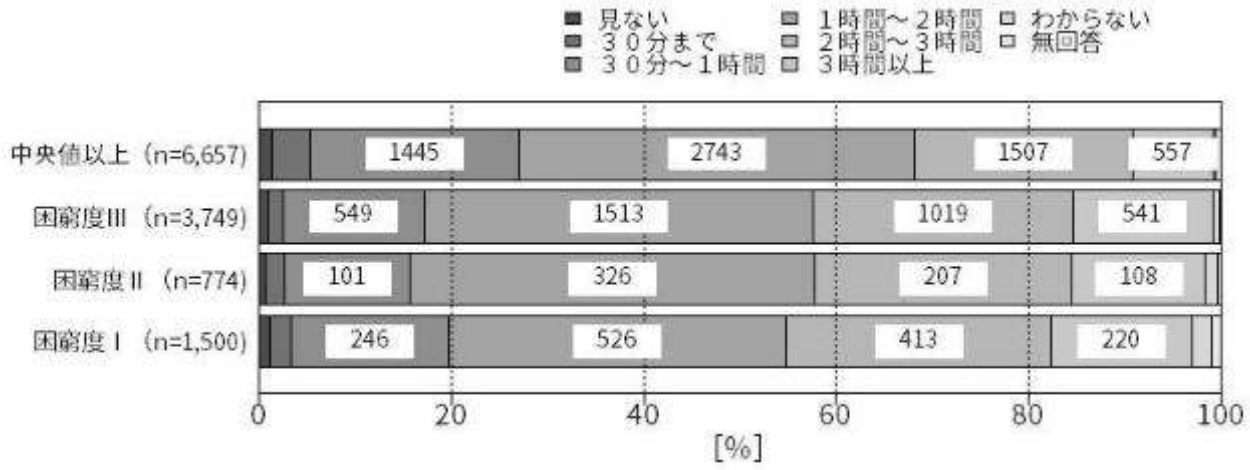


図 123. 困窮度別に見た、就寝時間

困窮度が厳しくなるにしたがって、就寝時間が遅くなる傾向にあった。、困窮度Ｉ群においては午後１０時台と回答した割合がやや高く、41.3%となっている。

困窮度別に見た、テレビ視聴時間（問 24）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市住之江区＞

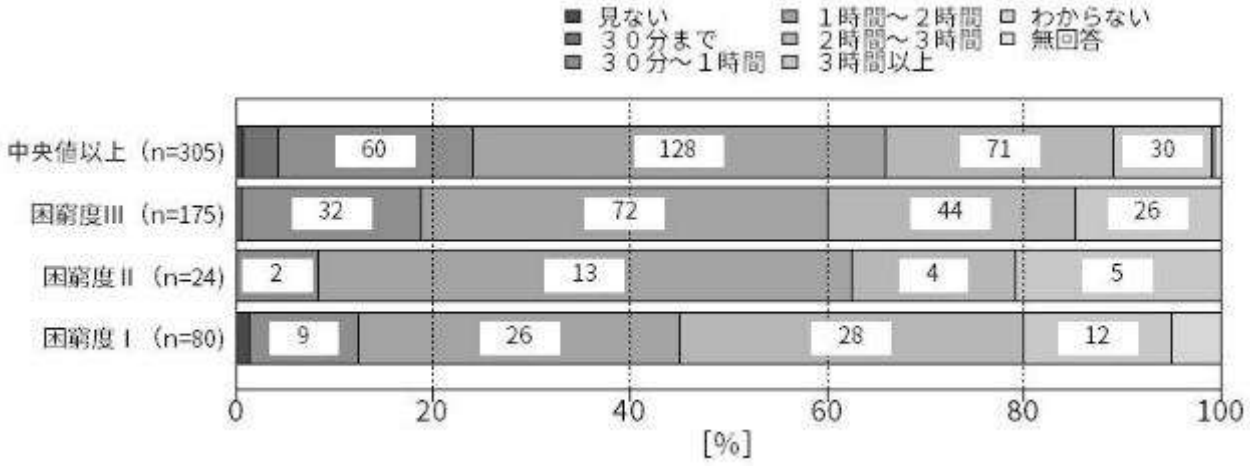
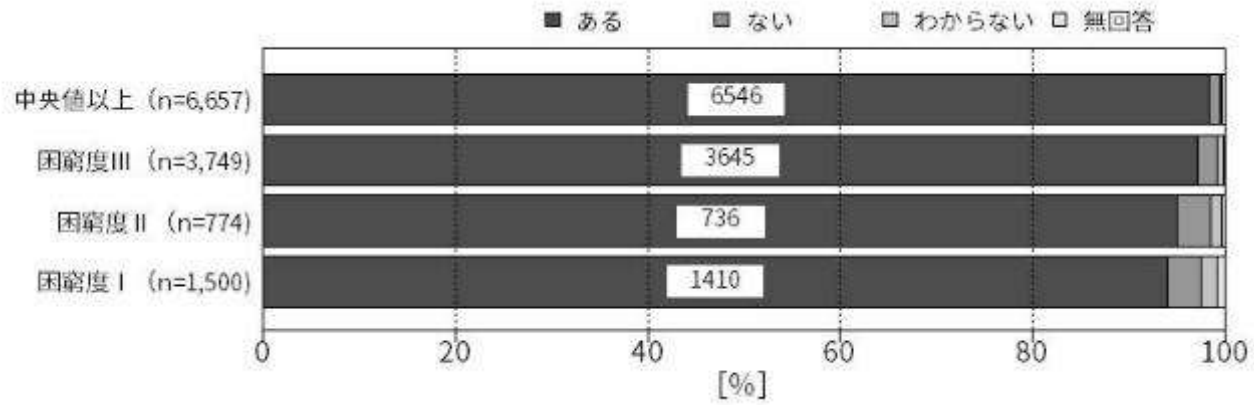


図 124. 困窮度別に見た、テレビ視聴時間

困窮度が厳しくなるにしたがって、視聴時間が長くなる傾向にあった。中央値以上群では「見ない」～「１時間～２時間」の回答を選択した割合が高く、約 7 割弱となっている。

困窮度別に見た、歯磨きの習慣（問 25）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市住之江区＞

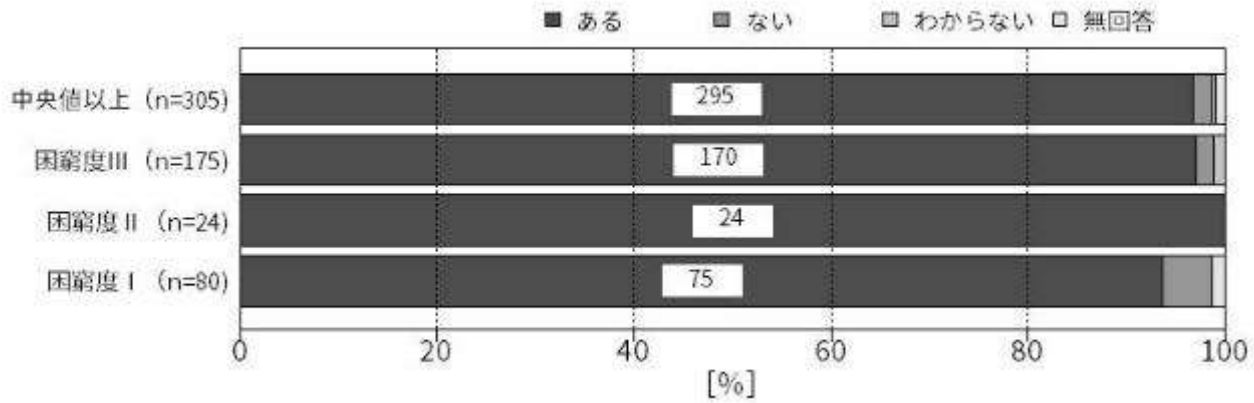
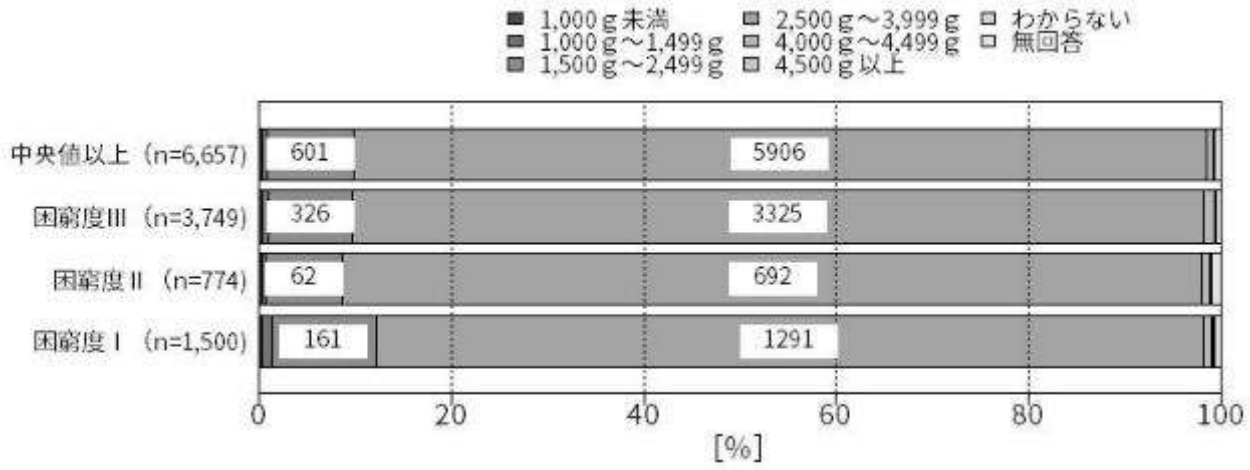


図 125. 困窮度別に見た、歯磨きの習慣

困窮度が厳しくなるにしたがって、歯磨きの習慣が「ある」の割合が低くなる傾向にあった。

困窮度別に見た、出生時体重（問 11）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市住之江区＞

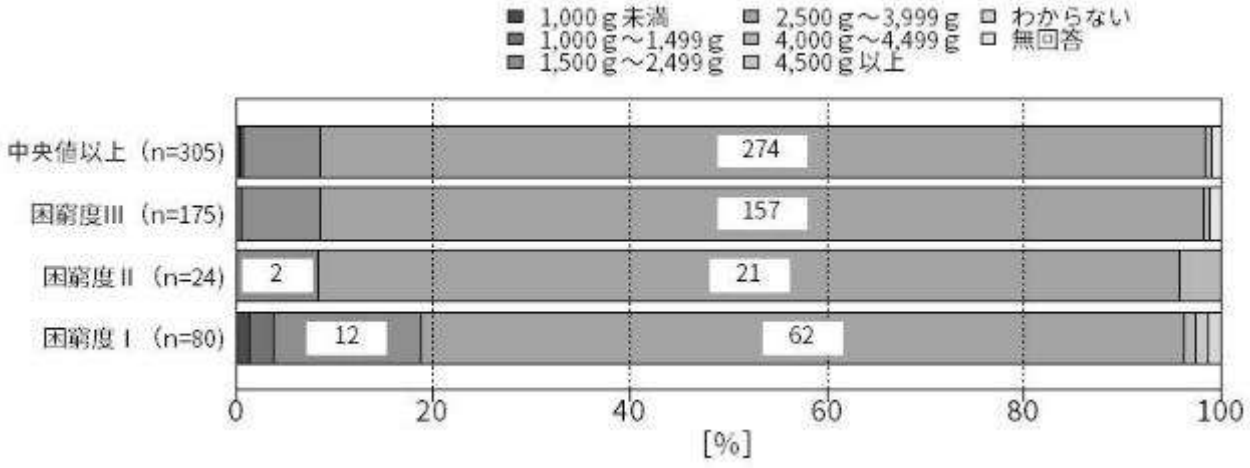
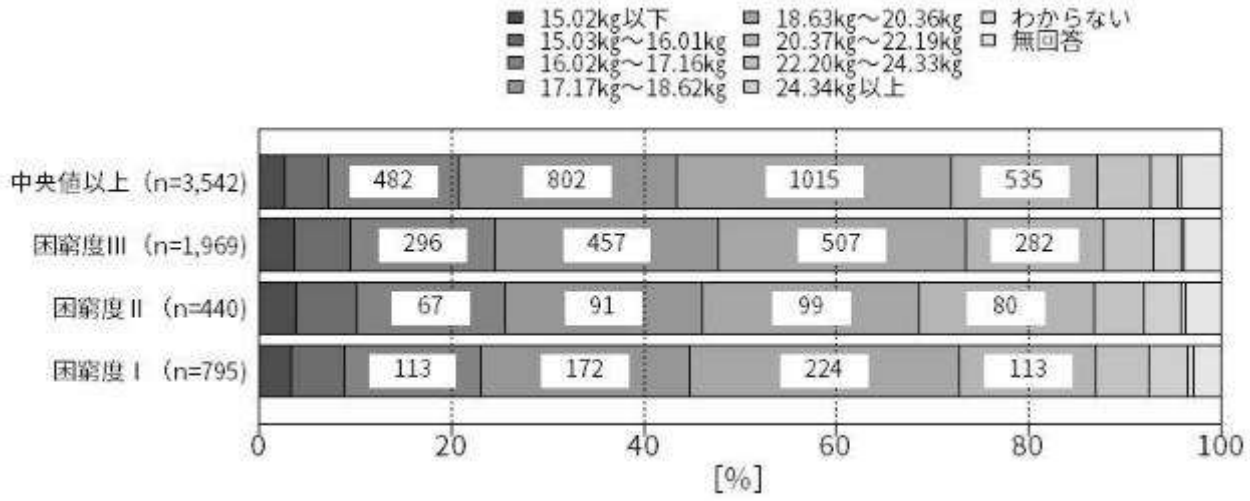


図 126. 困窮度別に見た、出生時体重

困窮度が厳しくなるにしたがって、出生時の体重が低くなる傾向にあった。困窮度Ⅰ群において「1,000ｇ～1,499ｇ」「1,500ｇ～2,499ｇ」と回答した割合は合計 17.5%であった。

困窮度別に見た、現在の体重（問 13-1）＜男子＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市住之江区＞

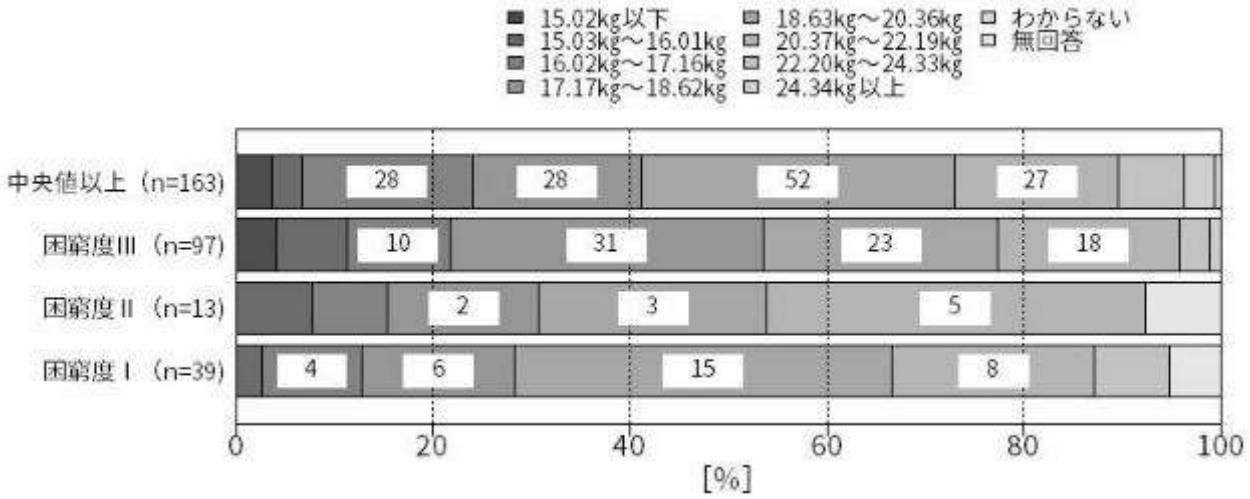
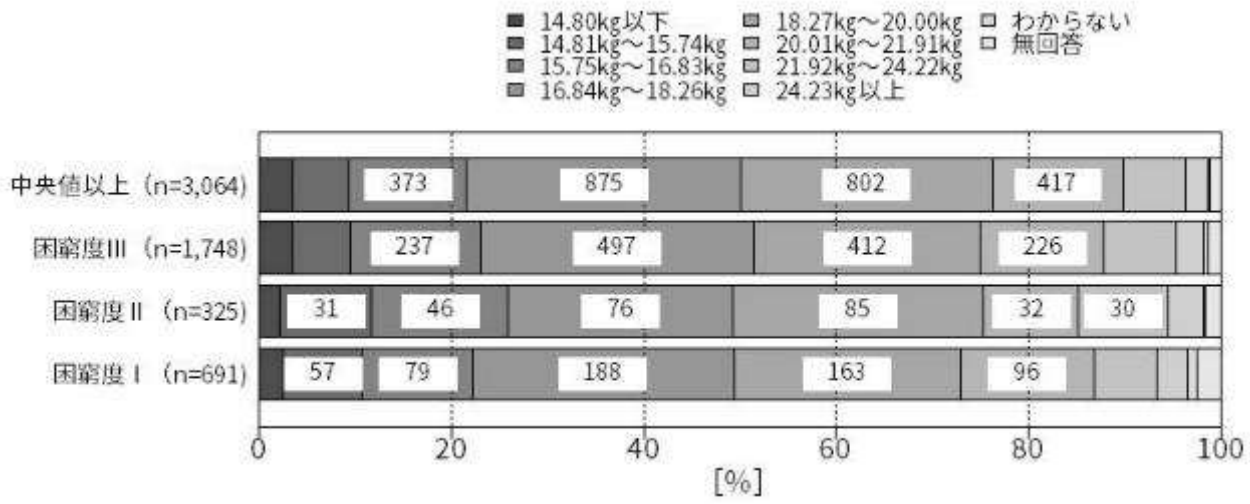


図 127. 困窮度別に見た、現在の体重＜男子＞

困窮度と現在の体重（男子）に関係は見られなかった。

困窮度別に見た、現在の体重（問 13-2）＜女子＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市住之江区＞

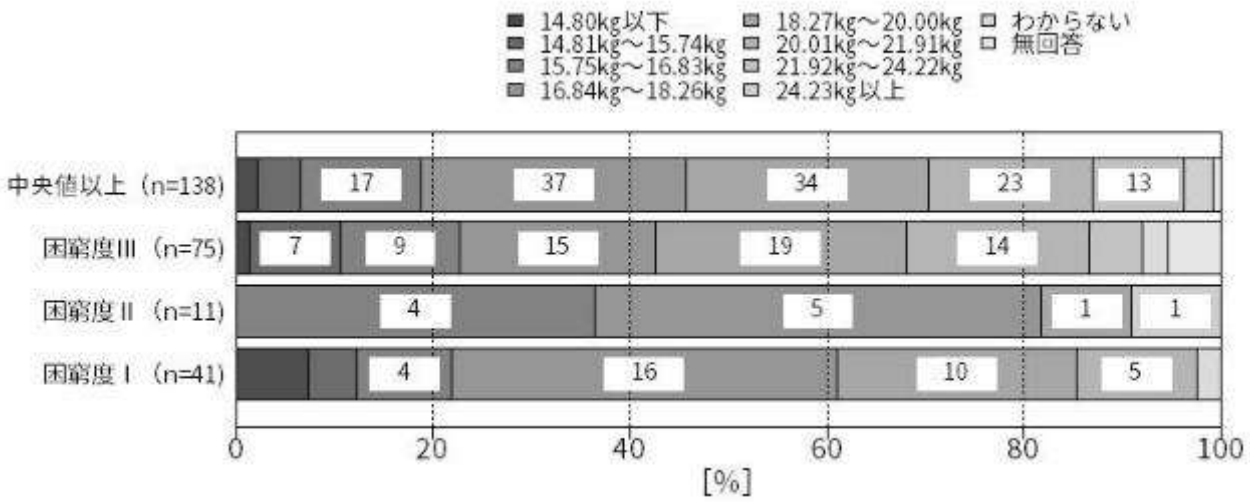
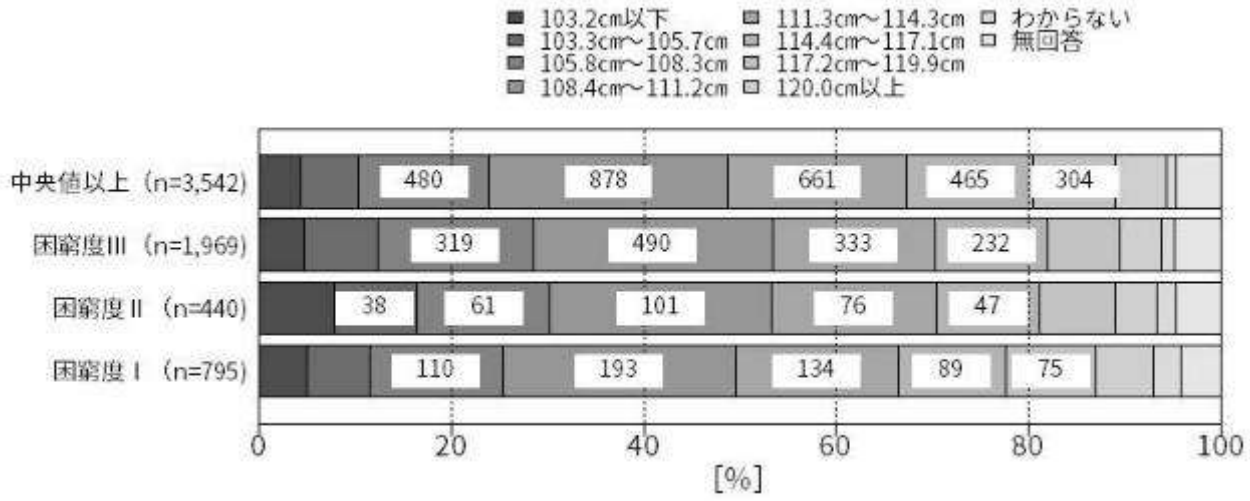


図 128. 困窮度別に見た、現在の体重＜女子＞

困窮度と現在の体重（女子）に関係は見られなかった。

困窮度別に見た、現在の身長（問 14-1）＜男子＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市住之江区＞

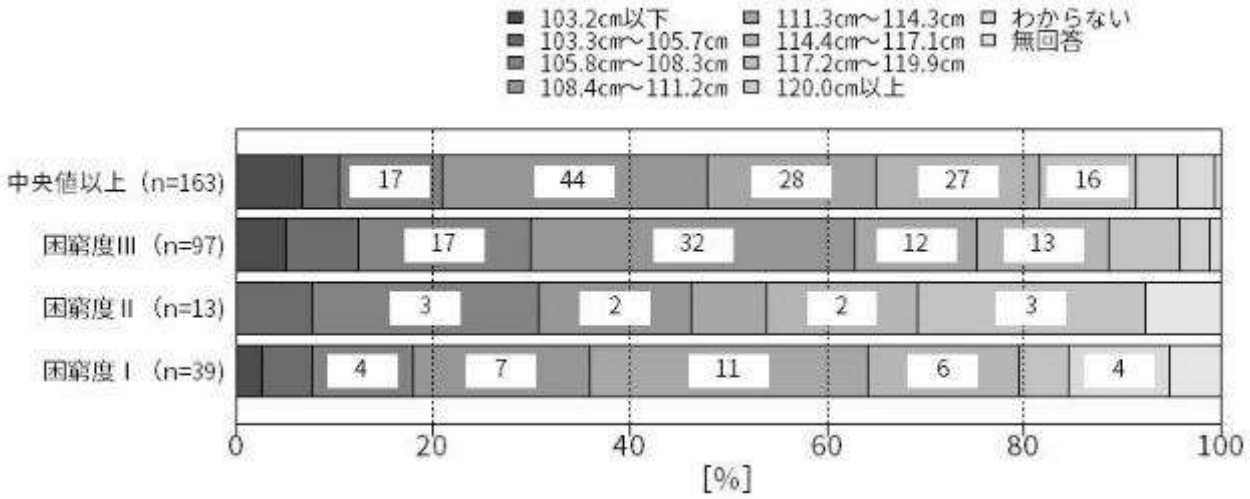
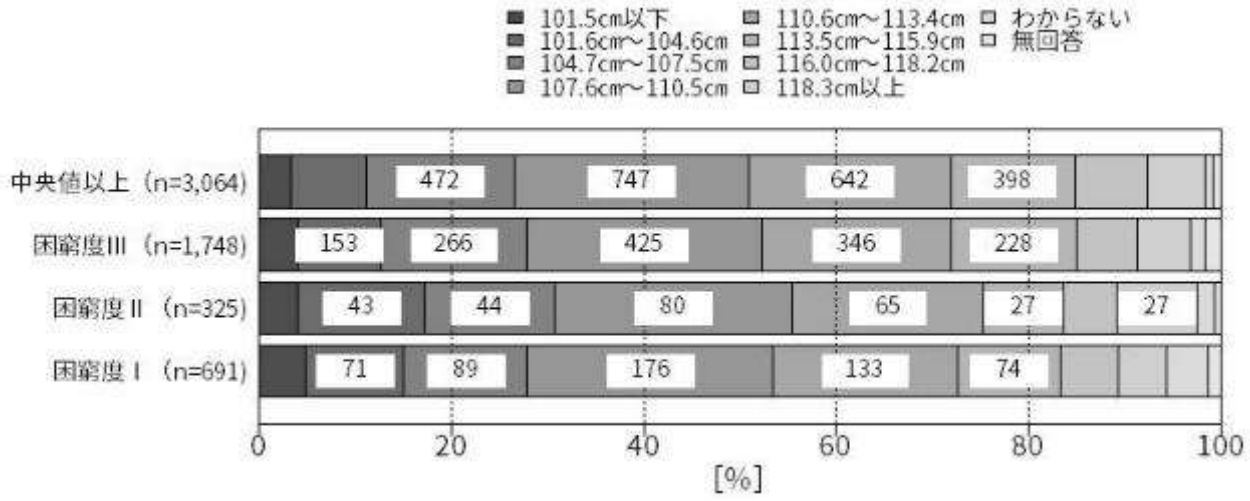


図 129. 困窮度別に見た、現在の身長＜男子＞

困窮度が厳しくなるにしたがって、現在の身長が低い男子の割合が高くなる傾向にあった。

困窮度別に見た、現在の身長（問 14-2）＜女子＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市住之江区＞

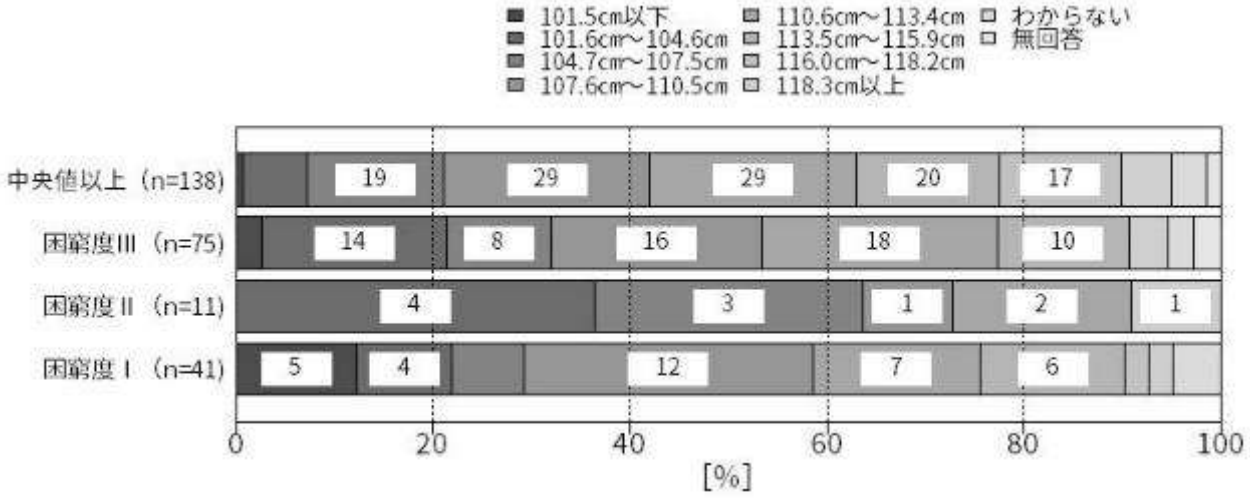
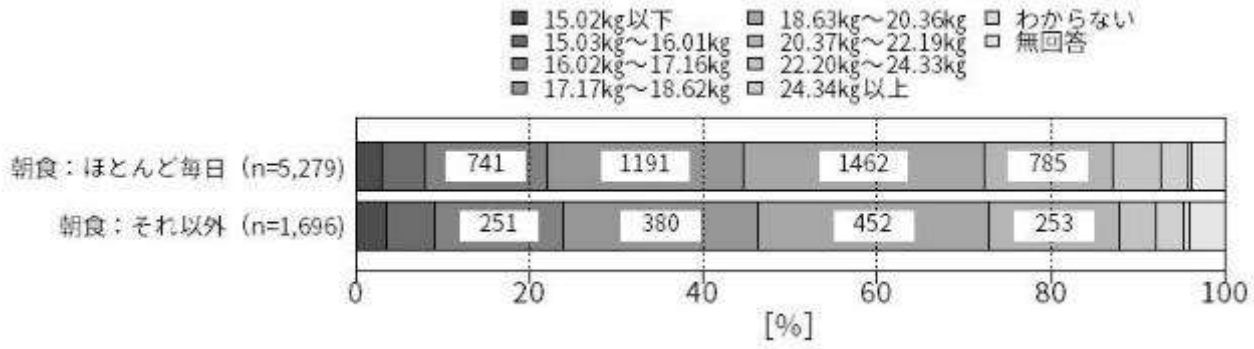


図 130. 困窮度別に見た、現在の身長＜女子＞

困窮度が厳しくなるにしたがって、現在の身長が低い女子の割合が高くなる傾向にあった。

朝食の頻度別に見た、現在の体重（問 17×問 13-1）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市住之江区＞

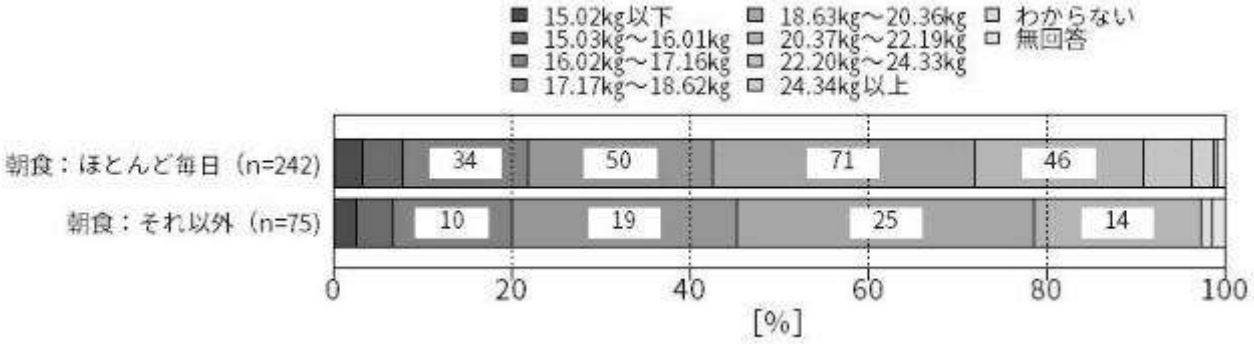
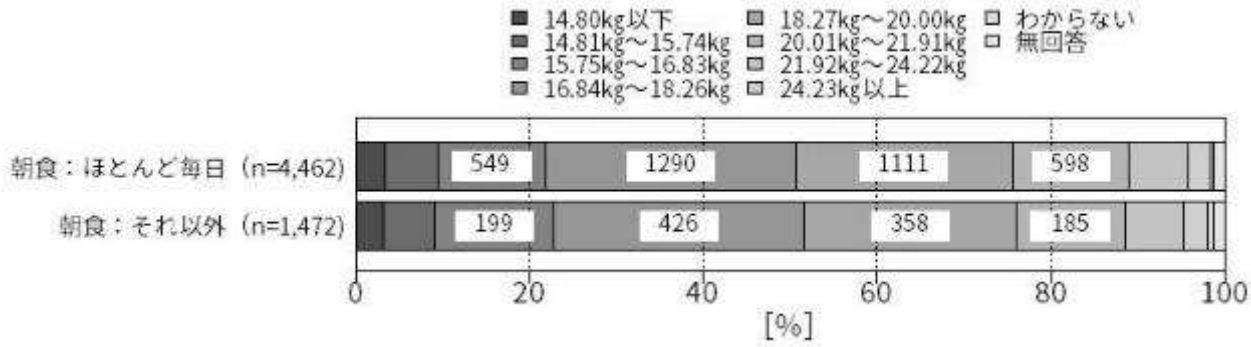


図 131. 朝食の頻度別に見た、現在の体重

朝食の頻度によって、現在の男子の体重に大きな差は見られなかった。

朝食の頻度別に見た、現在の体重（問 17×問 13-2）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市住之江区＞

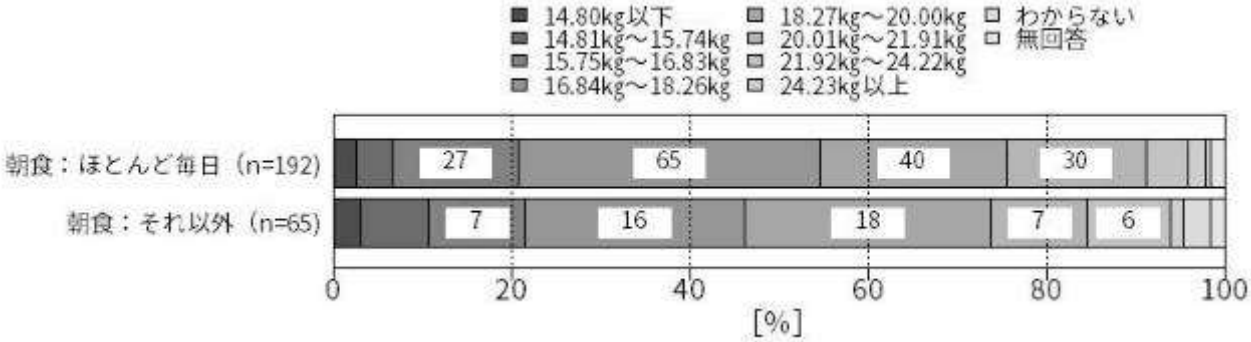
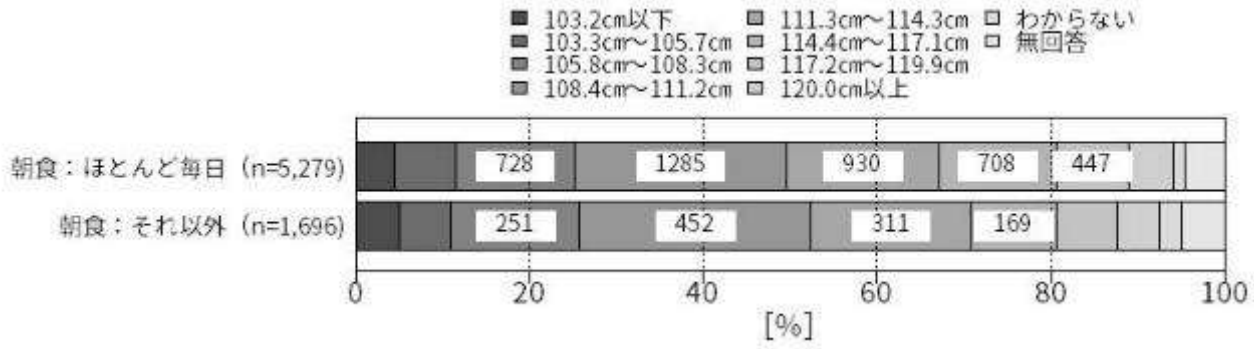


図 132. 朝食の頻度別に見た、現在の体重

朝食の頻度によって、現在の女子の体重に大きな差は見られなかった。

朝食の頻度別に見た、現在の身長（問 17×問 14-1）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市住之江区＞

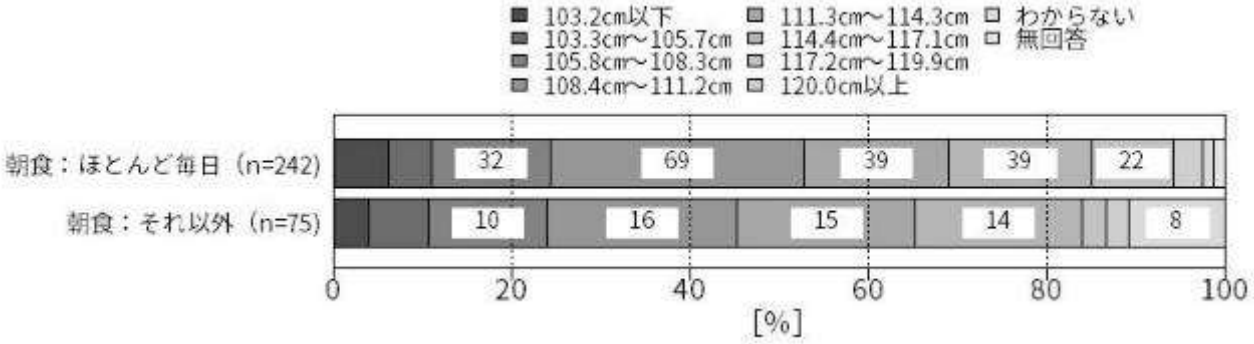
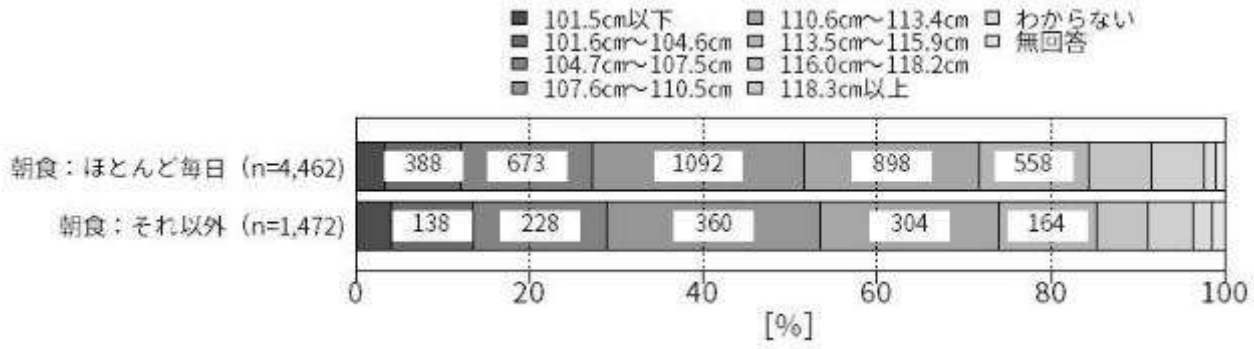


図 133. 朝食の頻度別に見た、現在の身長

朝食の頻度と男子の身長に関係は見られなかった。

朝食の頻度別に見た、現在の身長（問 17×問 14-2）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市住之江区＞

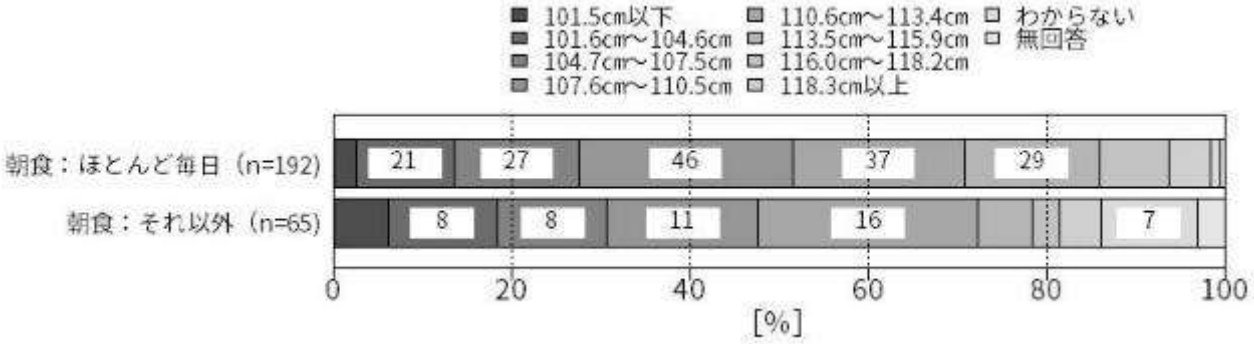
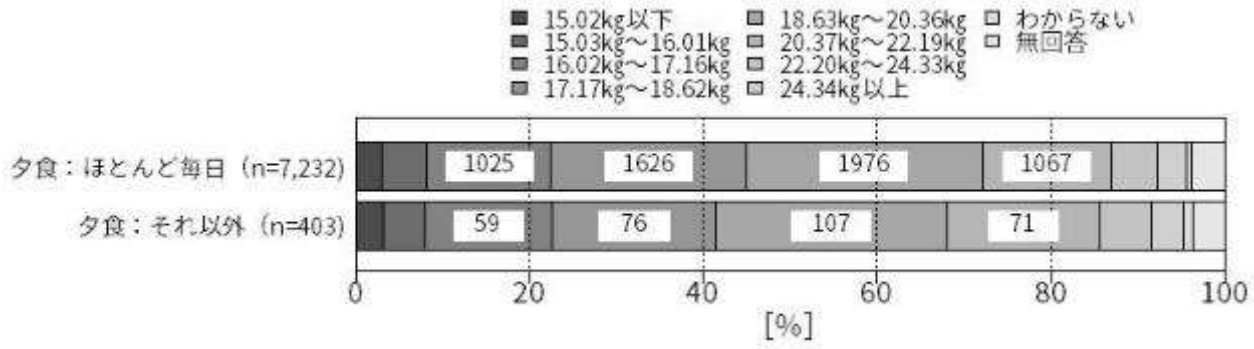


図 134. 朝食の頻度別に見た、現在の身長

朝食を毎日食べるわけではない群では、女子の身長が低い群が多かった。

夕食の頻度別に見た、現在の体重（問 20×問 13-1）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市住之江区＞

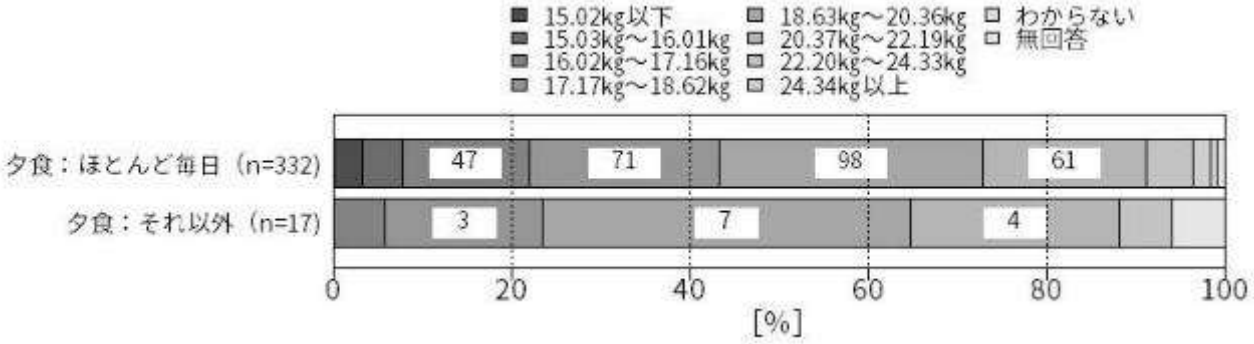
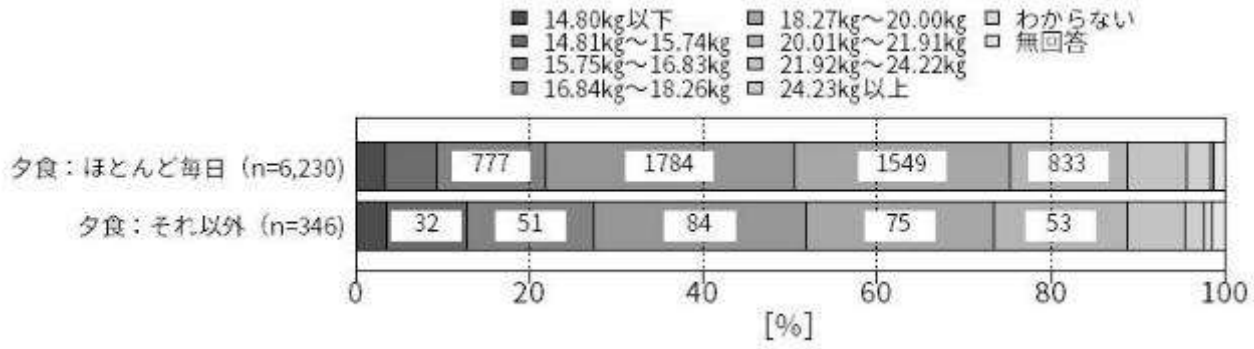


図 135. 夕食の頻度別に見た、現在の体重

夕食を毎日食べるわけではない子どもは人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

夕食の頻度別に見た、現在の体重（問 20×問 13-2）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市住之江区＞

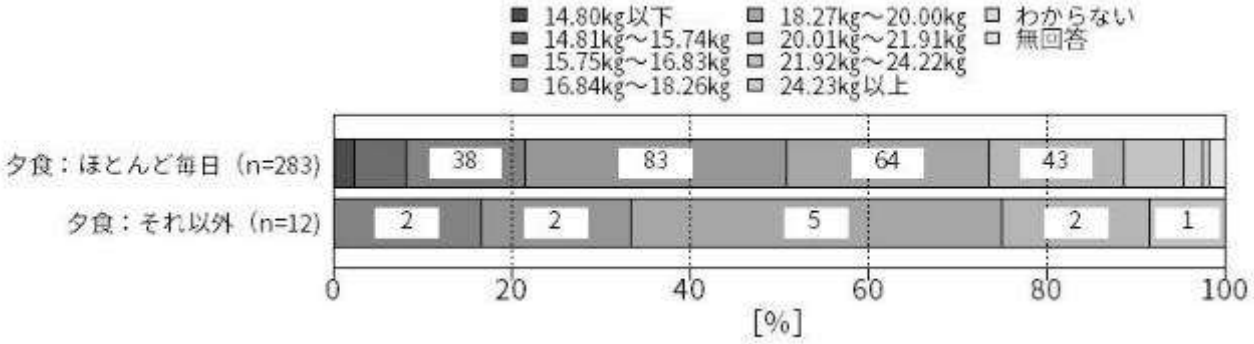
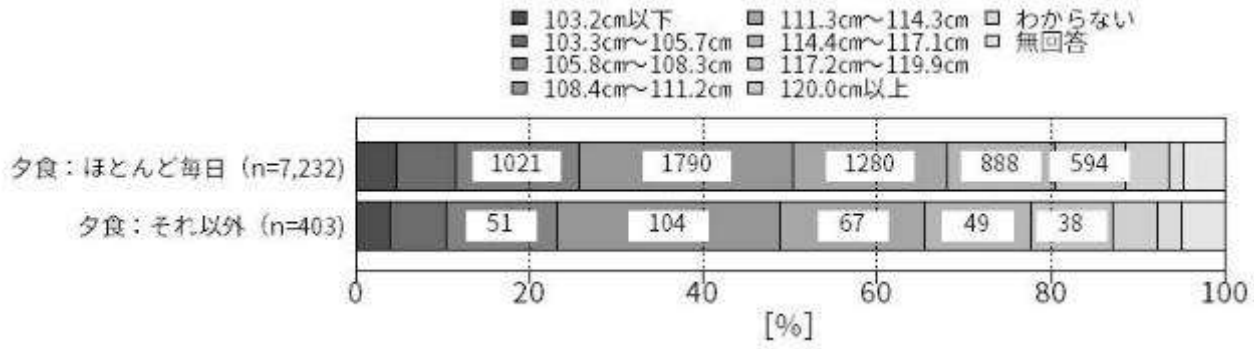


図 136. 夕食の頻度別に見た、現在の体重

夕食を毎日食べるわけではない子どもは人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

夕食の頻度別に見た、現在の身長（問 20×問 14-1）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市住之江区＞

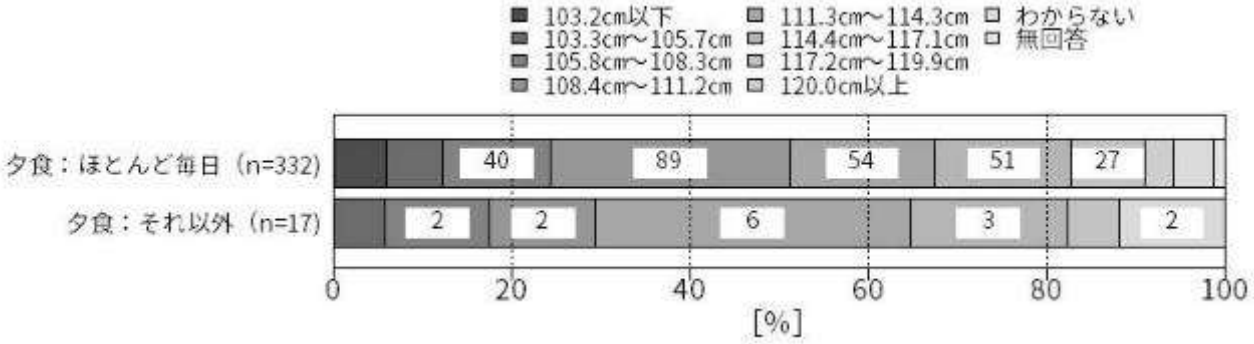
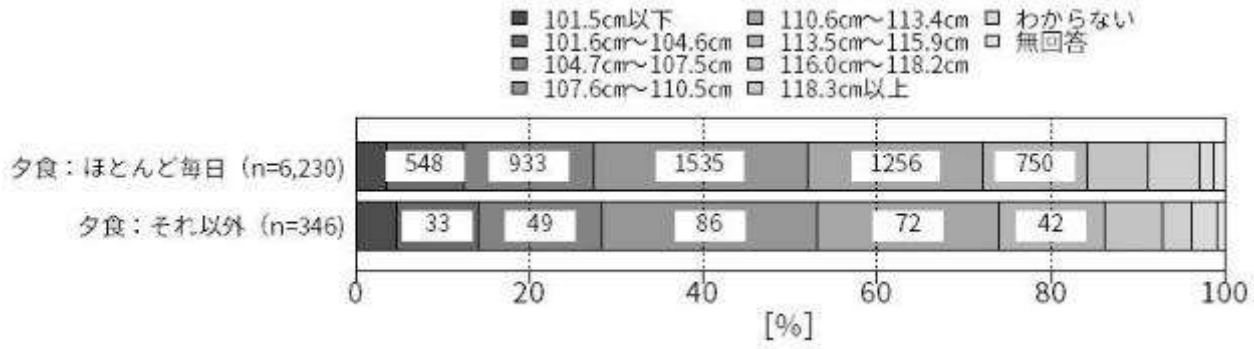


図 137. 夕食の頻度別に見た、現在の身長

夕食を毎日食べるわけではない子どもは人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

夕食の頻度別に見た、現在の身長（問 20×問 14-2）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市住之江区＞

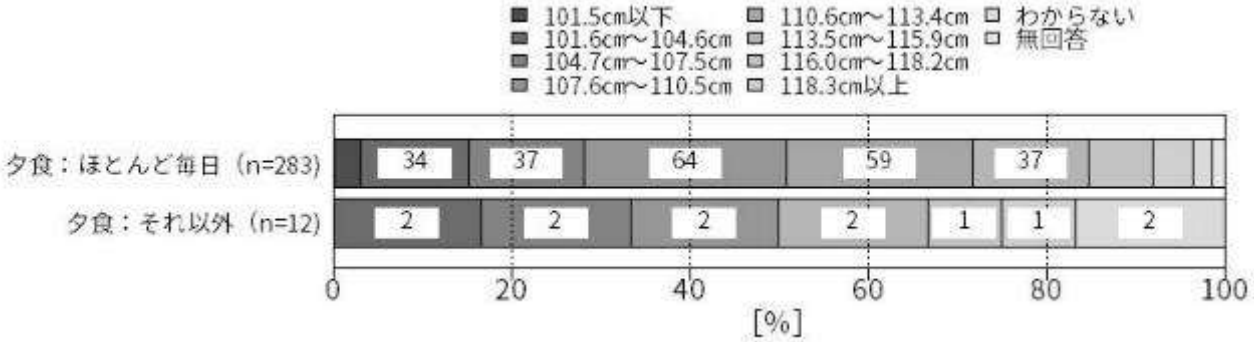
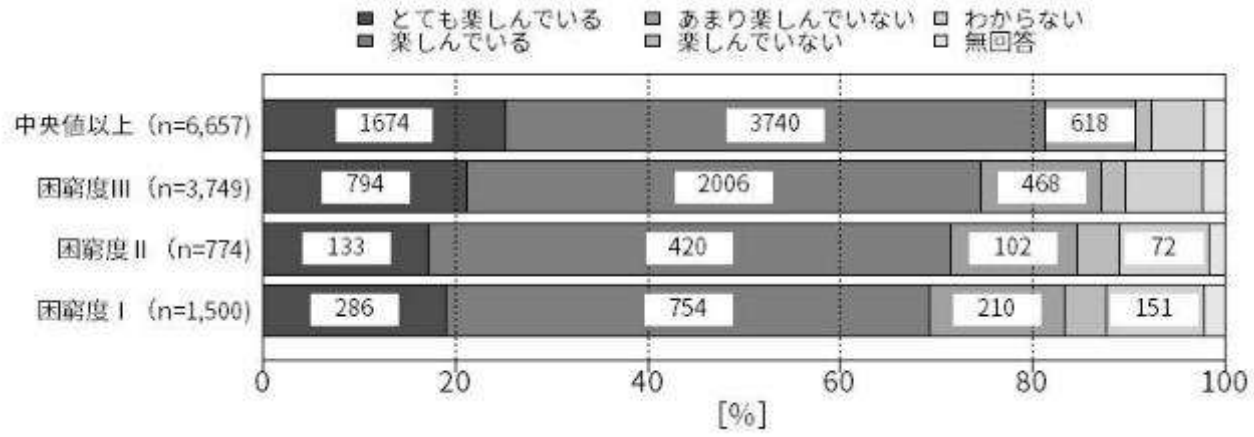


図 138. 夕食の頻度別に見た、現在の身長

夕食を毎日食べるわけではない子どもは人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

困窮度別に見た、心の状態（１）生活を楽しんでいる（問 36-1）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市住之江区＞

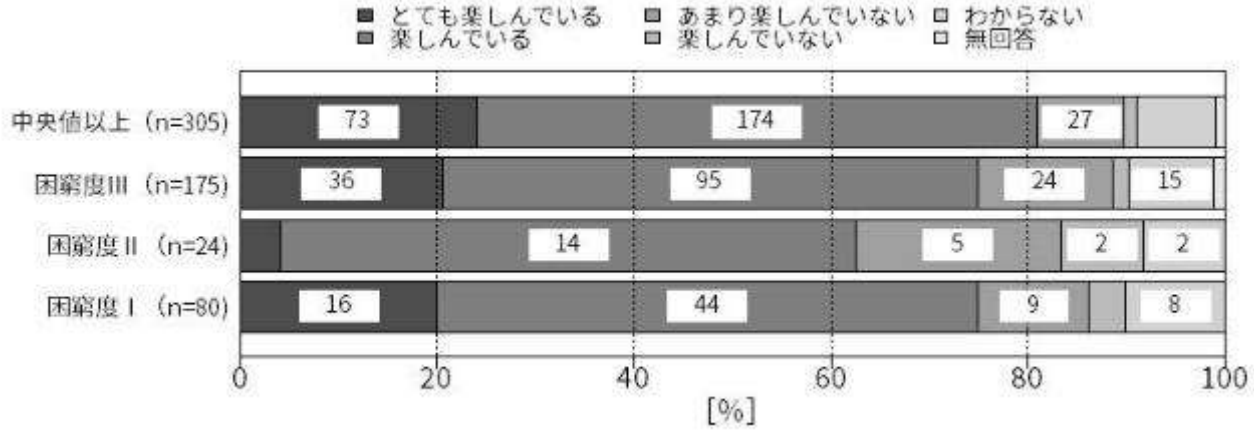
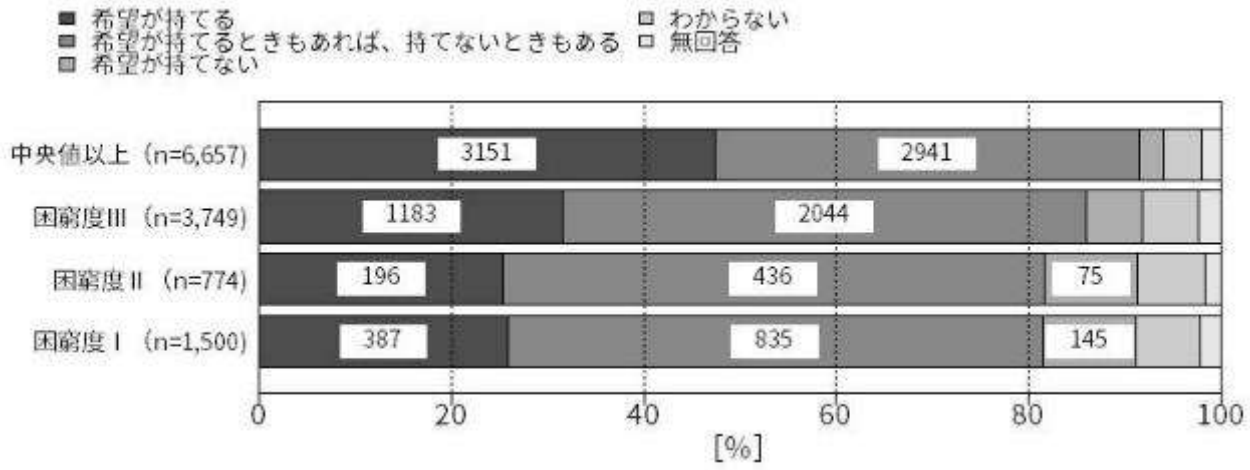


図 139. 困窮度別に見た、心の状態（１）生活を楽しんでいる

困窮度が厳しくなるにしたがって、「とても楽しんでいる」「楽しんでいる」をあわせた割合がやや低くなる傾向にあった。

困窮度別に見た、心の状態（２）将来への希望（問 36-2）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市住之江区＞

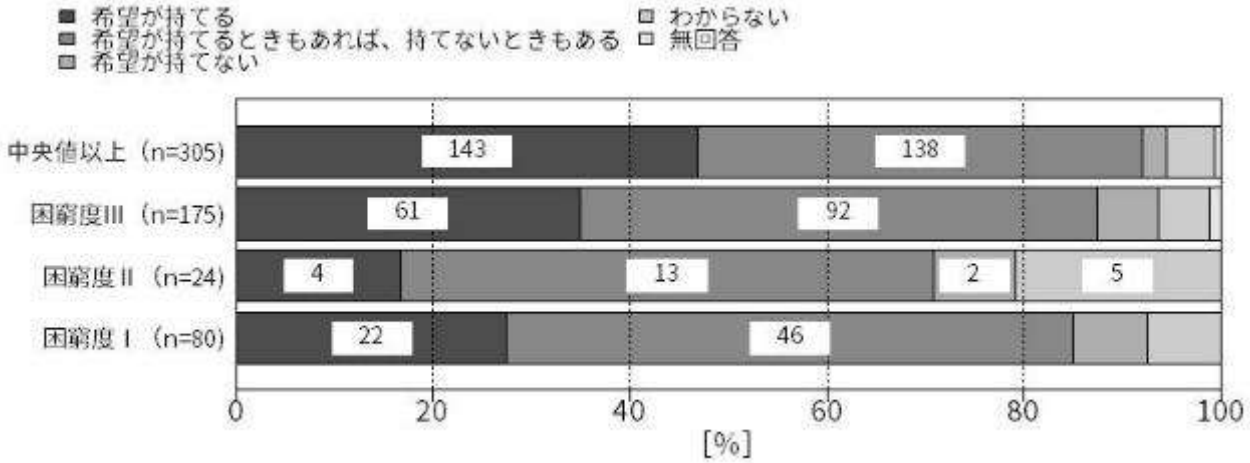
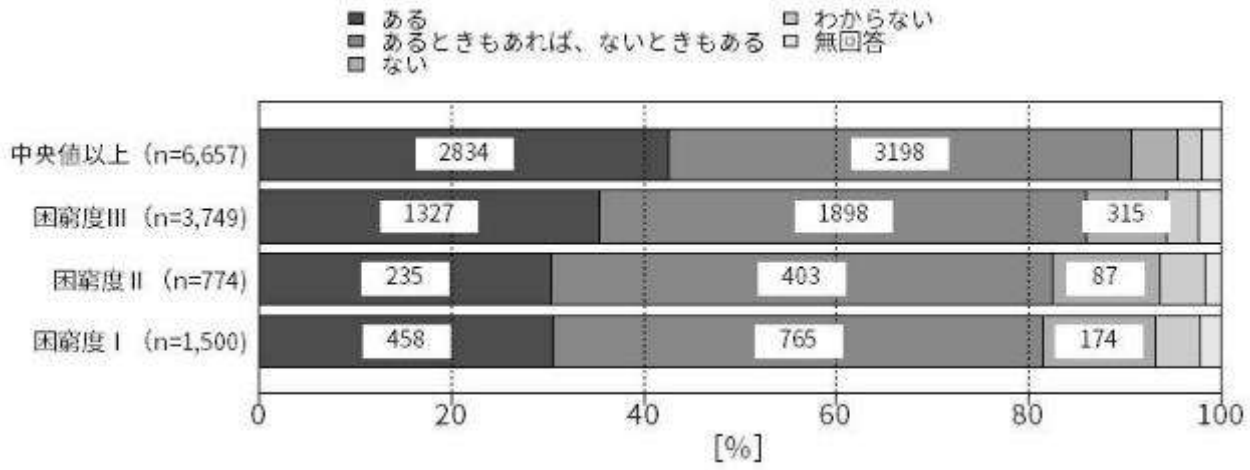


図 140. 困窮度別に見た、心の状態（２）将来への希望

困窮度が厳しくなるにしたがって、「希望が持てる」の割合が低くなる傾向にあり、困窮度Ⅰ群においては 27.5%であった。

困窮度別に見た、心の状態（３）ストレス発散できるもの（問 36-3）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市住之江区＞

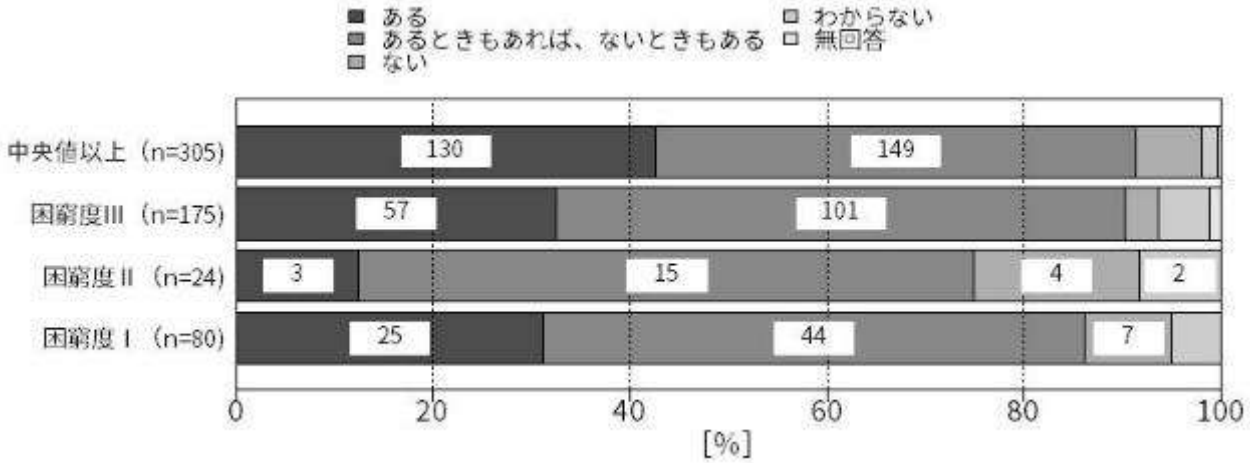
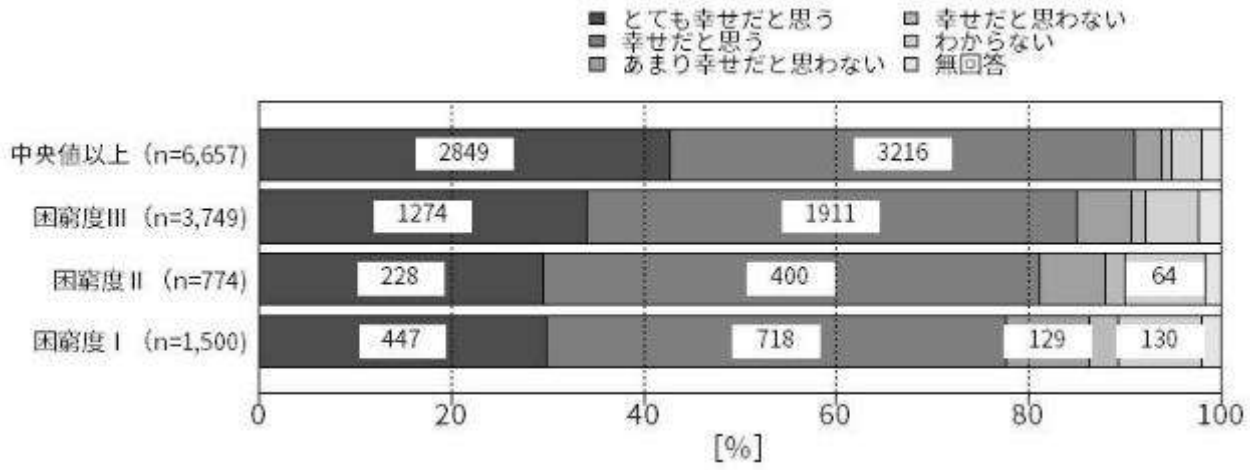


図 141. 困窮度別に見た、心の状態（３）ストレス発散できるもの

困窮度によって大きな差は見られなかった。

困窮度別に見た、心の状態（４）幸せだと思う（問 36-4）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市住之江区＞

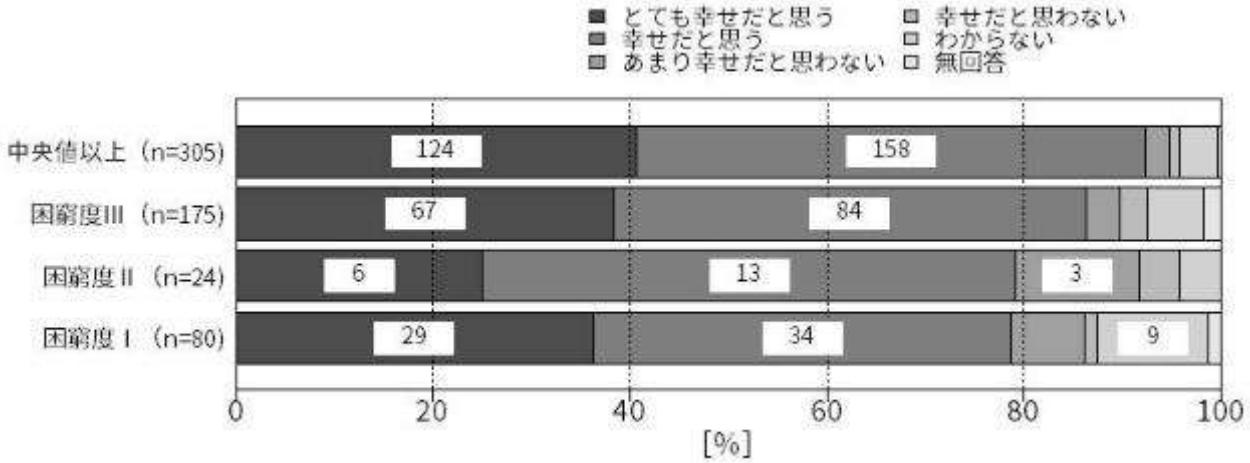
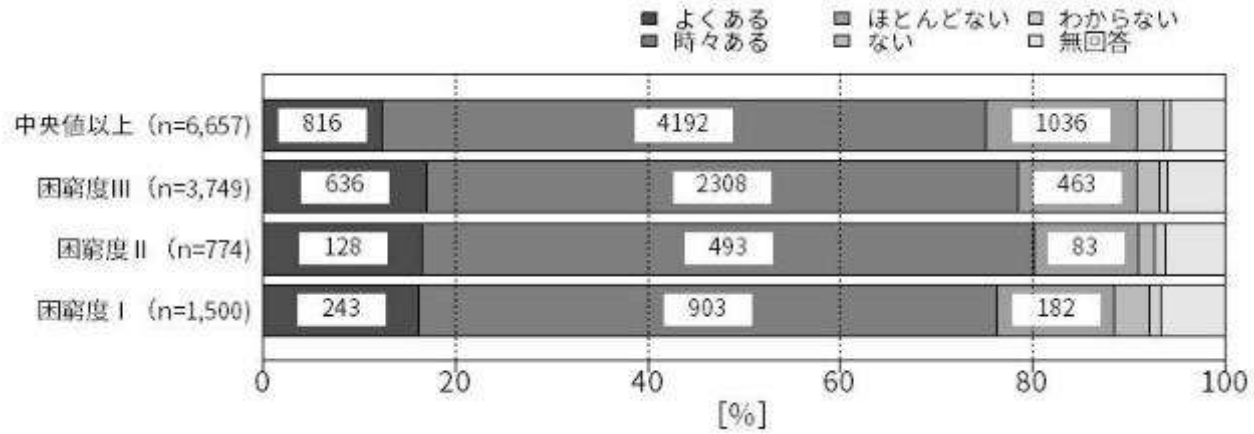


図 142. 困窮度別に見た、心の状態（４）幸せだと思う

困窮度が厳しくなるにしたがって、「とても幸せだと思う」「幸せだと思う」の割合が低くなる傾向にあり、困窮度Ｉ群においては８割程度であった。

困窮度別に見た、不安やイライラなどを子どもに向けることの頻度（問 38）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市住之江区＞

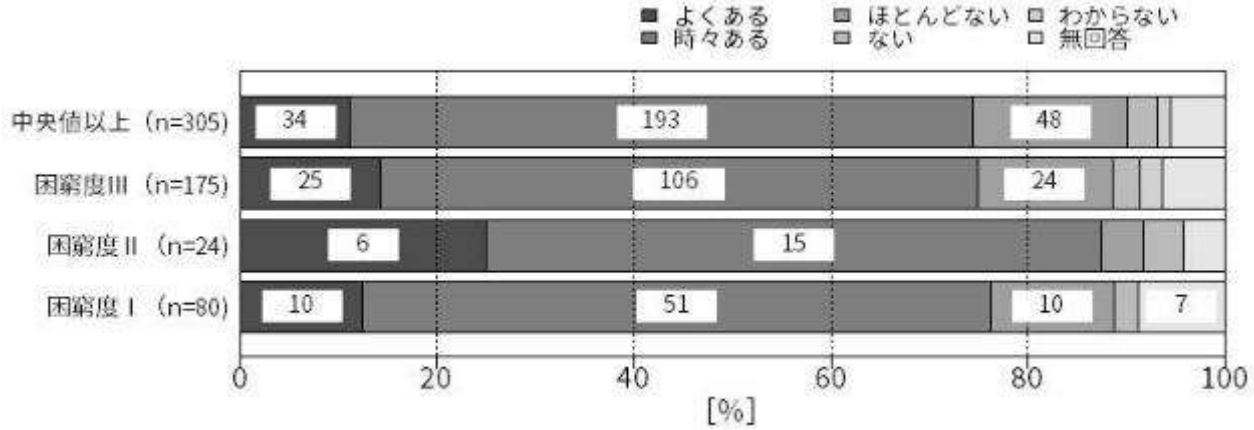


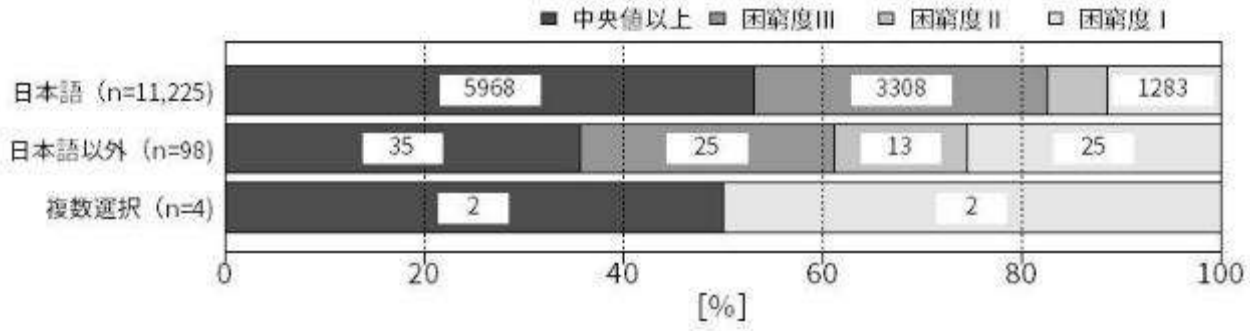
図 143. 困窮度別に見た、不安やイライラなどを子どもに向けることの頻度

中央値以上群に比べ他の群では、不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうことが「よくある」と回答した割合が高くなる傾向にあった。中央値以上群では 11.1%、困窮度 I 群では 12.5%であった。

３－４．家庭生活・学習

母国語別に見た困窮度分類（問 2）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市住之江区＞

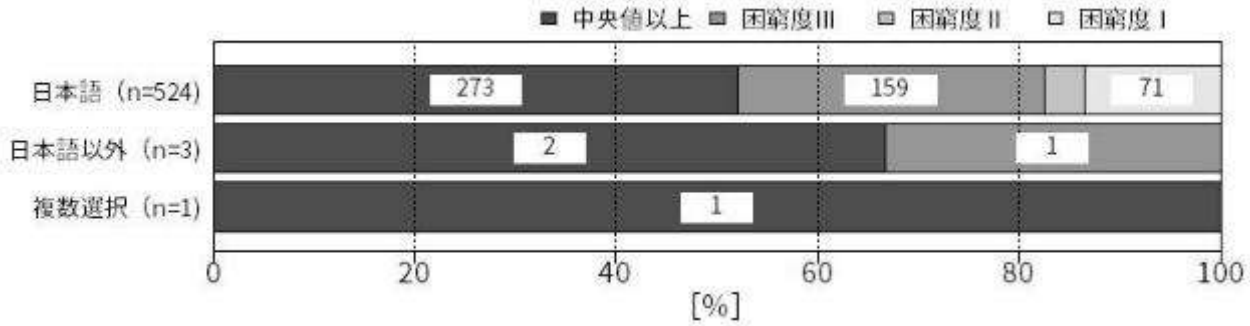
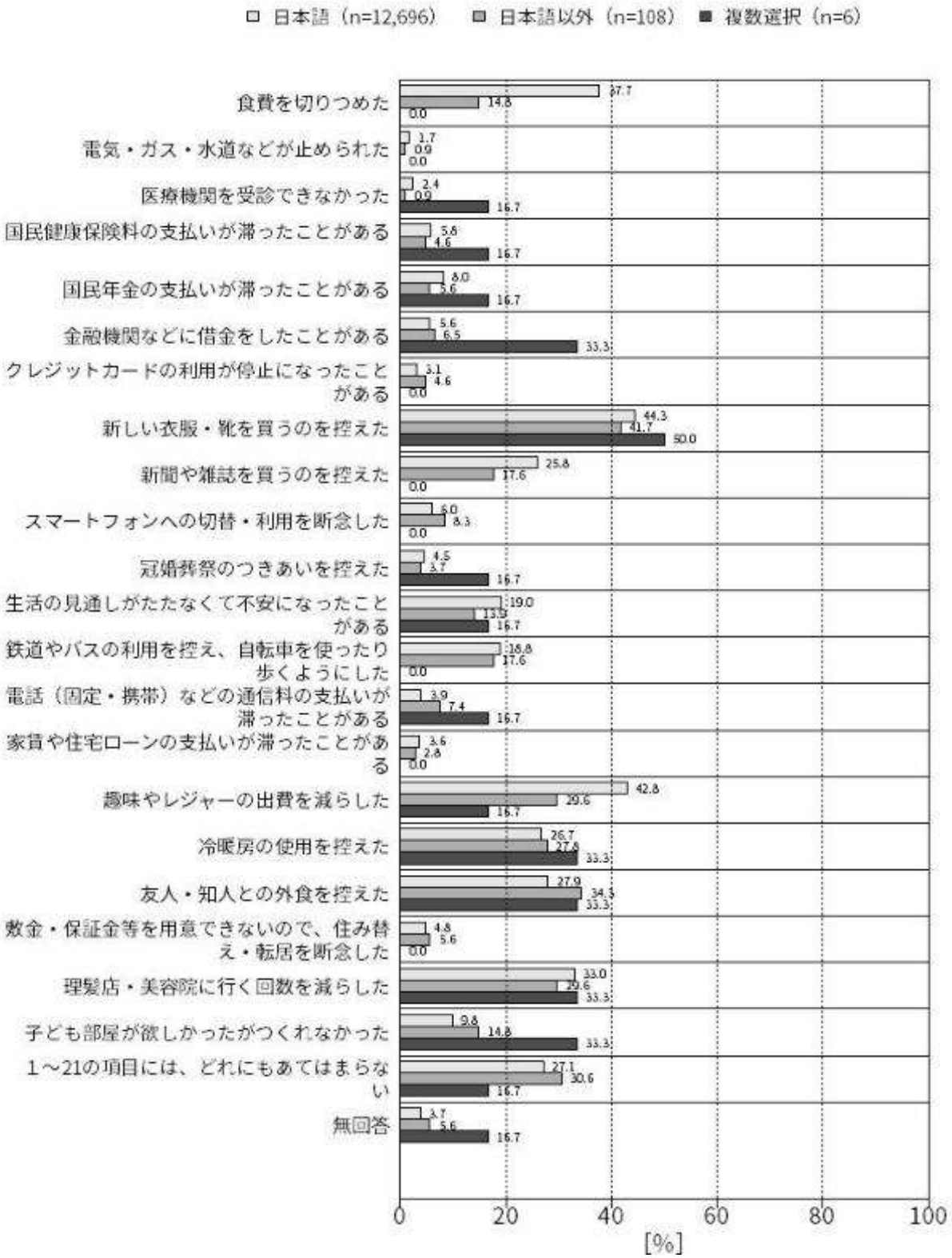


図 144. 母国語別に見た困窮度分類

日本語以外の世帯・複数を選択した世帯は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

母国語別に見た、世帯で経済的な理由でできなかったこと（問 2×問 6）

＜大阪市 24 区＞



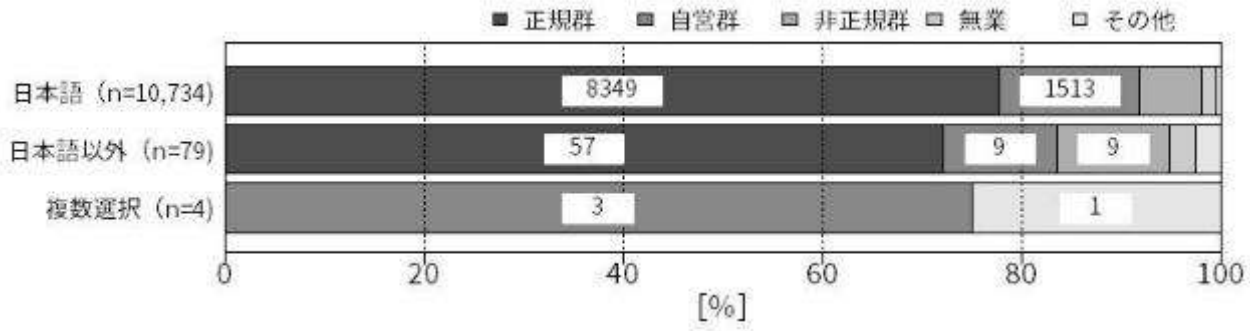
＜大阪市住之江区＞

図 145. 母国語別に見た、世帯で経済的な理由でできなかったこと

日本語以外の世帯・複数を選択した世帯は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

母国語別に見た就労状況（問 2×問 8）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市住之江区＞

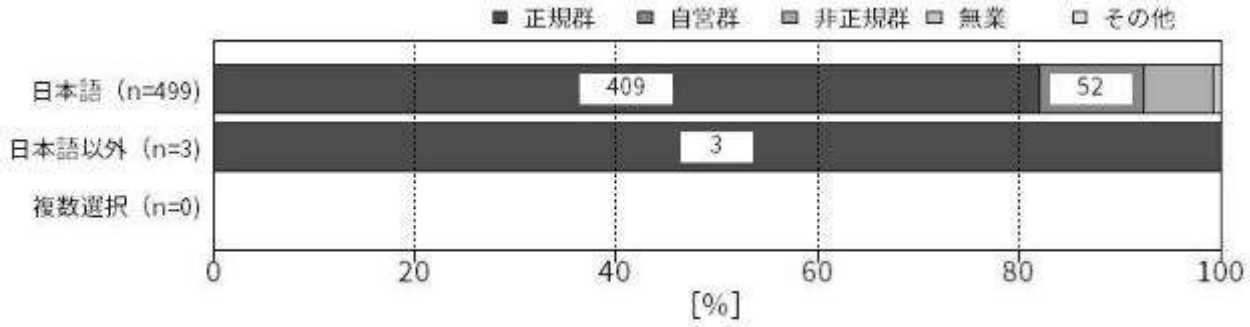
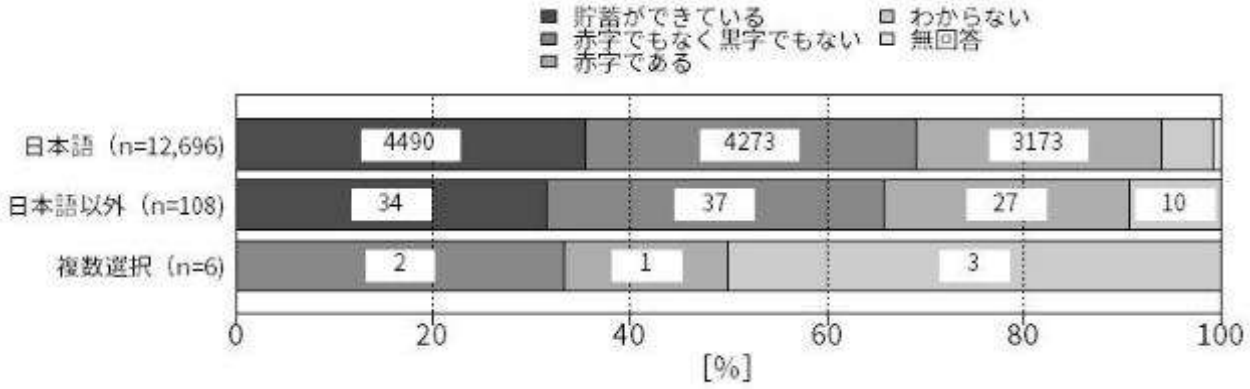


図 146. 母国語別に見た就労状況

日本語以外の世帯・複数を選択した世帯は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

母国語別に見た、家計状況（問 2×問 5-1）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市住之江区＞

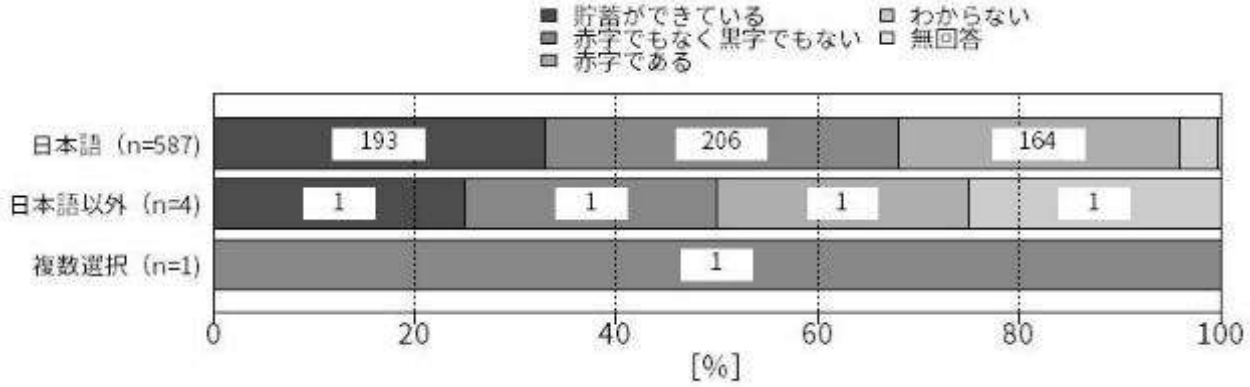
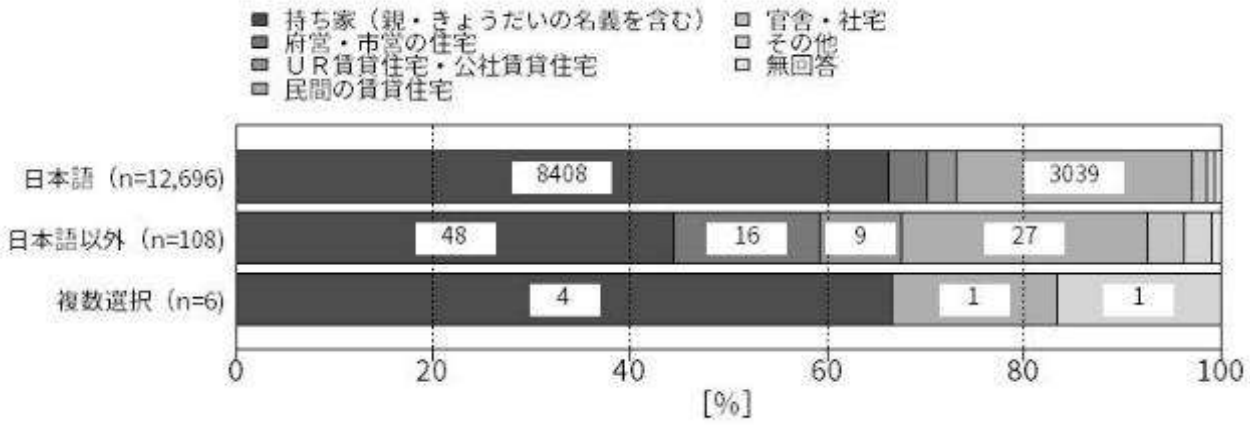


図 147. 母国語別に見た、家計状況

日本語以外の世帯・複数を選択した世帯は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

母国語別に見た、住居（問 2×問 4）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市住之江区＞

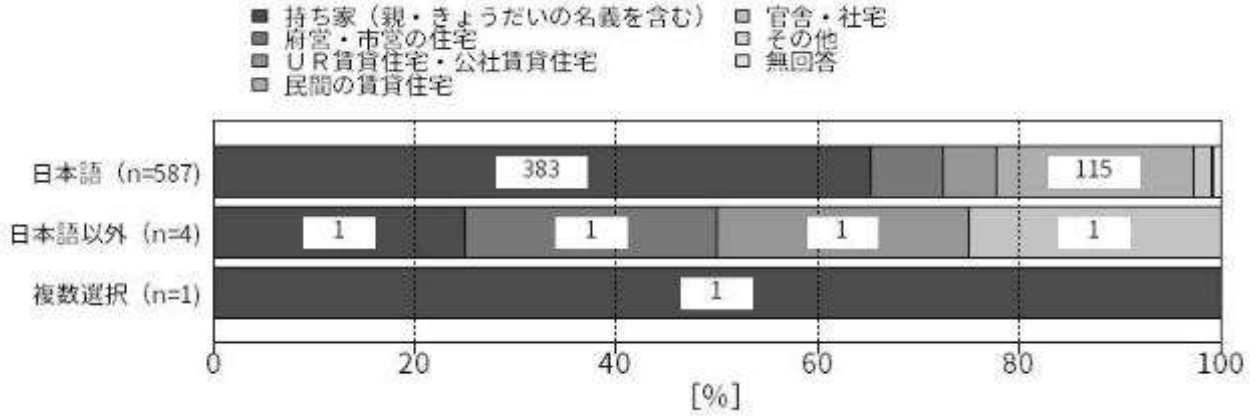


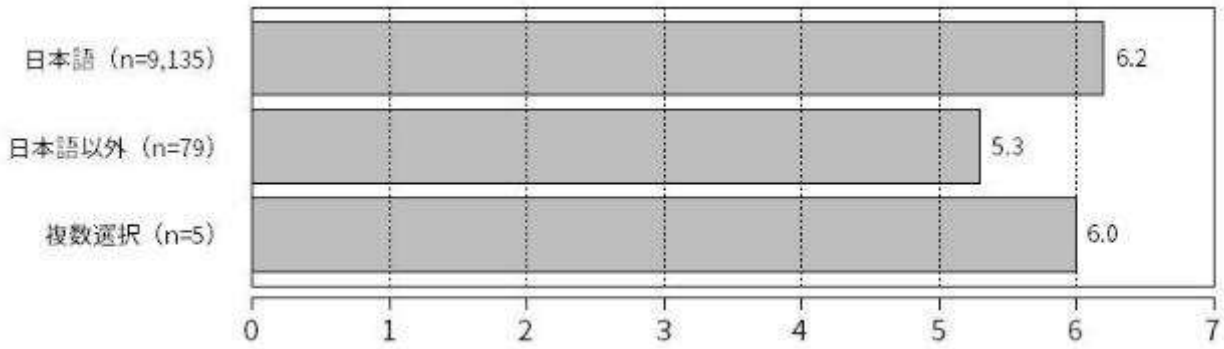
図 148. 母国語別に見た、住居

日本語以外の世帯・複数を選択した世帯は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

母国語別に見た、支えてくれる人の数の平均（問 2×問 34）

※「あなたを支え、手伝ってくれる人はいますか」という質問について、「心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人」「あなたの気持ちを察して思いやってくれる人」「趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人」「子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人」「子どもの学びや遊びを豊かにする情報を教えてくれる人（運動や文化活動）」「子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人」「留守を頼める人」の 7 項目を提示した。それぞれの人物が「いる」か「いない」かで評定させたうえで、「いない」を 0 点、「いる」を 1 点とし、7 項目の合計得点を「支えてくれる人得点」とした。得点が高いほど、身近に支えてくれる人が多く存在することを表す。

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市住之江区＞

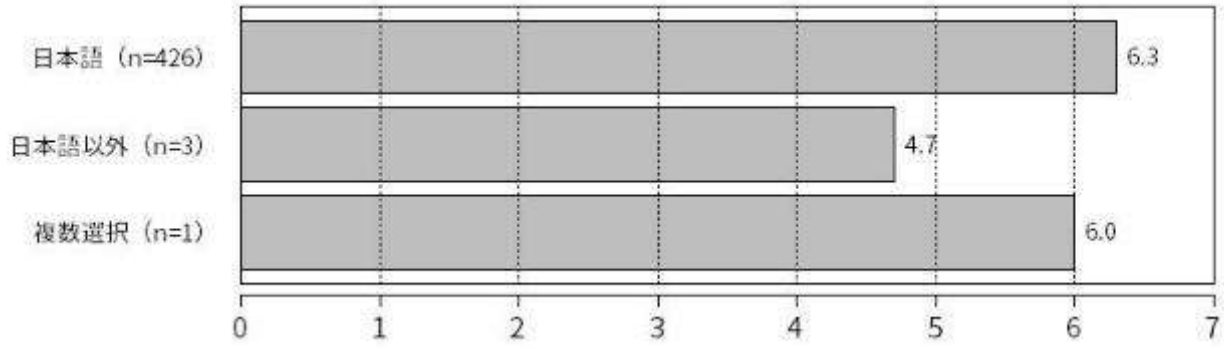


図 149. 母国語別に見た、支えてくれる人の数の平均

日本語以外の世帯・複数を選択した世帯は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。